各務原市学校教育系施設（小中学校）等 個別施設計画

令和３年３月

（令和８年１月　改訂）

各務原市

（教育施設管理課）

目次

１　個別施設計画の背景・目的等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１
（１）　背景と目的　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１
（２）　個別施設計画の位置付け　・・・・・・・・・・・・・・・・　１
（３）　対象施設　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２
（４）　計画期間　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４

２　学校教育系施設の目指すべき姿　・・・・・・・・・・・・・・・・・　６

３　学校教育系施設の現況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７
（１）　施設の保有状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７
（２）　施設の利用状況等の把握　・・・・・・・・・・・・・・・・　７
（３）　学校教育系施設整備の現状　・・・・・・・・・・・・・・　36
（４）　個別施設の状態　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　37

４　学校教育系施設整備の基本的な方針等　・・・・・・・・・・・・・　42
（１）　学校教育系施設整備の方針　・・・・・・・・・・・・・・　42
（２）　学校教育系施設の規模・配置計画の方針　・・・・・・・　43
（３）　改修等の方針　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　43

５　長寿命化の実施計画　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　47
（１）　整備の方向性・改修の優先順位　・・・・・・・・・・・・　47
（２）　施設整備にかかる事業費の算出条件　・・・・・・・・・　50
（３）　４０年間の概算事業費の試算　・・・・・・・・・・・・・　51
（４）　今後５年の整備計画　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　52

６　個別施設計画推進に向けた取組み　・・・・・・・・・・・・・・・　53

1　個別施設計画の背景・目的等

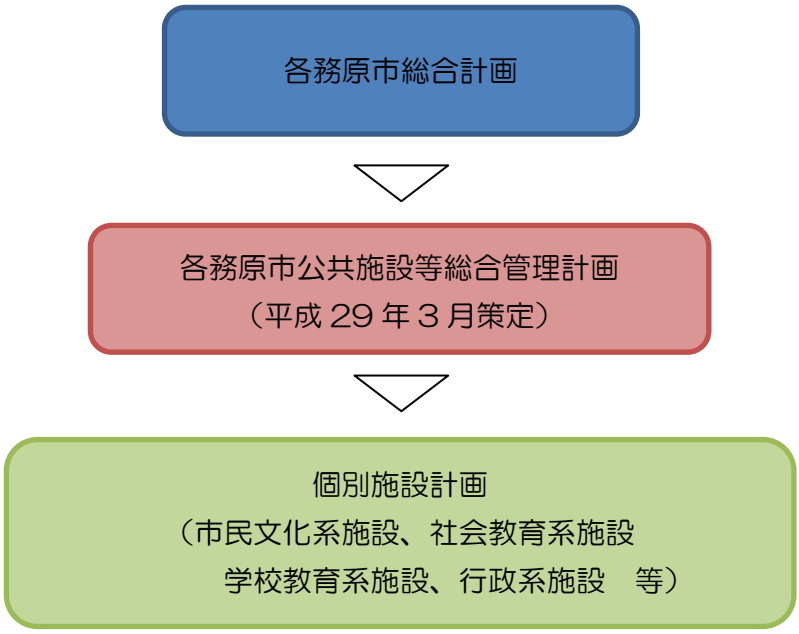
（1）背景と目的

本市では、高度経済成長期以降の人口増加や行政需要の拡大を背景に、昭和 40 年代半ばから昭和 60 年代にかけ、様々な公共建築物やインフラ資産が集中的に整備されてきました。今後は急速に人口減少や高齢化が進行するだけでなく、これらの公共施設等の老朽化も進み、これから一斉に大規模改修や更新の時期を迎えることになります。

このような背景のもと、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を行うため、所有施設等の現状や施設全体の管理に関する基本的な方針を定め、中期的な取組の方向性を明らかにするとともに、市民の安全・安心を確保し、維持管理・更新等に係るトータルコストの縮減や予算の平準化を図るための計画として、平成 28 年度に「各務原市公共施設等総合管理計画（以下「総合管理計画」という。）」を策定しました。この総合管理計画を着実に推進するためには、各施設の特性や維持管理・更新等に係る取組状況を踏まえ、具体の対応方針を定める必要があるため、この度、各務原市学校教育系施設（小中学校、特別支援学校、学校給食センター）個別施設計画を策定しました。

（2）個別施設計画の位置付け

個別施設計画は、総合管理計画の下位計画として位置づけられ、総合管理計画に記載された施設の具体的な計画となります。また、総合管理計画は市の最上位の計画である「各務原市総合計画」の下位計画として位置づけられています。



（３）対象施設

本計画で対象とする学校教育系施設とその概要を示します。

NO.	施設名称	所在地	開校年度 建築年度 （西暦）※1	延床面積 （㎡）	構造 ※2	所管課
1	那加第一小学校	那加手力町 22-5	1964	10,466.50	RC	教育施設管理課
2	那加第二小学校	那加雲雀町 1	1970	6,814.51	RC	教育施設管理課
3	那加第三小学校	那加東亜町 1-1	1972	5,866.72	RC	教育施設管理課
4	尾崎小学校	尾崎南町 3-2	1976	6,295.79	RC	教育施設管理課
5	稲羽西小学校	大佐野町 1-233	1965	6,729.80	RC	教育施設管理課
6	稲羽東小学校	前渡西町 1393	1970	4,430.74	RC	教育施設管理課
7	川島小学校	川島河田町 1041-3	1976	8,281.31	RC	教育施設管理課
8	鵜沼第一小学校	鵜沼西町 4-179	1972	6,331.32	RC	教育施設管理課
9	鵜沼第二小学校	鵜沼各務原町 2-260	1971	6,577.97	RC	教育施設管理課
10	鵜沼第三小学校	新鵜沼台 4-1	1974	7,154.63	RC	教育施設管理課
11	緑苑小学校	緑苑北 1-26	1976	6,120.85	RC	教育施設管理課
12	八木山小学校	つつじが丘 1-1	1977	5,586.73	RC	教育施設管理課
13	陵南小学校	鵜沼大伊木町 4-425	1984	5,922.56	RC	教育施設管理課
14	各務小学校	各務おがせ町 4-7	1969	5,213.40	RC	教育施設管理課
15	蘇原第一小学校	蘇原野口町 1-1	1958	9,105.48	RC	教育施設管理課
16	蘇原第二小学校	蘇原沢上町 1-19	1972	6,898.99	RC	教育施設管理課
17	中央小学校	各務西町 4-302	1978	5,309.82	RC	教育施設管理課
18	那加中学校	那加東亜町 48	1961	10,022.31	RC	教育施設管理課
19	桜丘中学校	那加不動丘 1-77	1986	9,955.48	RC	教育施設管理課
20	稲羽中学校	上戸町 5-40	1959	7,090.33	RC	教育施設管理課
21	川島中学校	川島河田町 1028-1	1965	7,507.66	RC	教育施設管理課

NO.	施設名称	所在地	開校年度 建築年度 （西暦）※1	延床面積 （㎡）	構造 ※2	所管課
22	鵜沼中学校	松が丘 2-100	1962	10,283.11	RC	教育施設管理課
23	緑陽中学校	緑苑北 1-4	1978	8,666.58	RC	教育施設管理課
24	蘇原中学校	蘇原青雲町 1-10	1967	9,635.34	RC	教育施設管理課
25	中央中学校	各務西町 4-358-1	1979	9,447.70	RC	教育施設管理課
26	かかみがはら支援学校	鵜沼羽場町 2-3-1	2024	13,440.42	RC	教育施設管理課
27	学校給食センター	各務おがせ町 6-2	2008	2,837.40	S	学校給食センター
28	教育支援センター さくらまえみや	前渡西町 1415	1980	780.16	RC	学校教育課
計				202773.61		

※1　NO.1～25 は開校年度、NO.26～28は建築年度を示す

※2　構造　RC：鉄筋コンクリート造、W：木造、S：鉄骨造、
NO.1～26 は本校舎の構造を示す

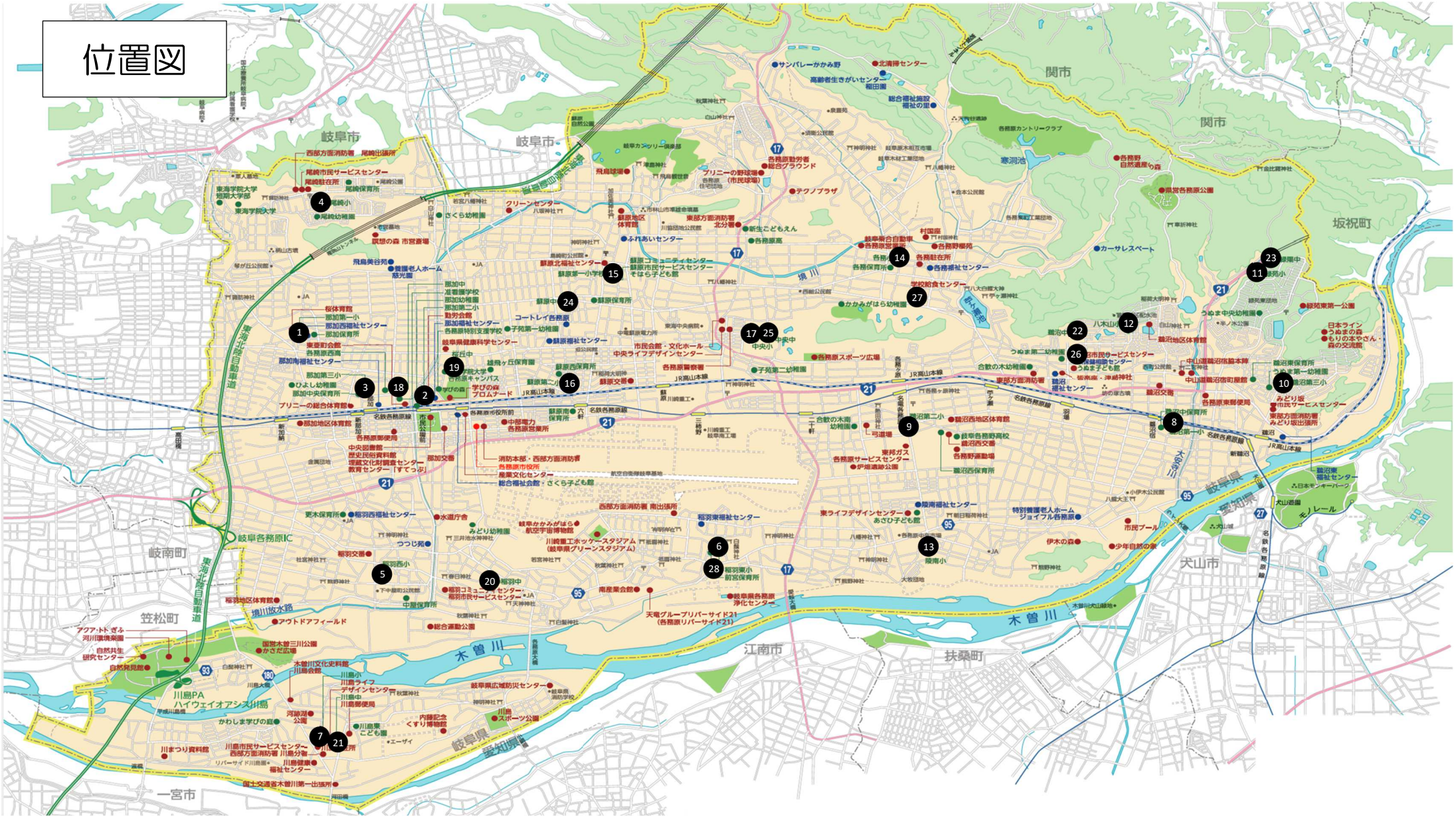
大 分 類	中 分 類	小 分 類		施 設 数
学校教育系施設	学校	小学校	NO.1～17	17 校
		中学校	NO.18～25	8 校
		特別支援学校	NO.26	1 校
	その他教育施設	学校給食センター	NO.27	1 施設
		教育支援センター さくらまえみや	NO.28	1 施設

（４）計画期間

社会情勢や人口構造の変化、政策動向等によって、公共施設に求められる役割や機能等も変化します。また、施設のこれまでの利用状況、自然環境等によって、施設ごとに劣化や損傷の進行は異なり、その状態は時々刻々と変化しています。現状ではこれらの変化を正確に予測することは困難であることから、計画期間は 10 年間としていますが、計画期間内であっても施設の点検結果その他の状況を踏まえ、適宜、計画を見直します。

なお、施設の維持・更新に伴う概算事業費の試算については、より長期的な視点が不可欠であるため、40 年間の費用を算出しています。

位置図


岐阜市
関市
坂祝町
岐南町
笠松町
犬山市
江南市
扶桑町
一宮市
岐阜県
愛知県
木曽川
境川
長良川
寒洞池
岐阜各務原IC
東海北陸自動車道
名鉄各務原線
JR高山本線
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28

２　学校教育系施設の目指すべき姿

〇確かな学力の育成ときめ細かな指導を実践する教育環境の整備

個に応じたきめ細かな指導の充実を図り、児童生徒に基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させるために、担任、夢づくり講師、KET（各務原英語指導助手）等によるチームティーチングや少人数授業など、多様な学習展開に対応する施設整備を進めます。

また、技術改革の一層の進展（第４次産業革命）、超スマート社会（Society5.0）の到来に対応した教育（英語力、コミュニケーション力の育成、主体的な学びの実践等）や ICT を活用した教育を推進するための環境を整備します。

さらに、児童生徒ひとりひとりの教育的ニーズに応じ、必要な支援を行う特別支援教育に対応した施設整備を図ります。

〇心豊かでたくましく、自立した人間形成を支える安全な環境を実現

児童生徒が安心して快適に学習に取り組むことができる環境を整えるため、体育館の暑さ対策や防犯カメラの設置など安全性に配慮した施設整備を図ると共に、障がいの有無に関わらず安心して施設を利用できるようユニバーサルデザイン化を推進します。

また、地球環境に配慮し、持続可能な社会の実現のため、LED 照明の導入やキュービクルの更新、断熱性能の向上等の省エネルギー対応に取り組み、環境負荷の低減を進めます。

さらに、児童生徒に安心・安全な学校給食を提供するための環境整備に努めます。

〇地域と共に学ぶ拠点としての施設整備

学校教育活動を支える学校運営協議会や PTA、学校サポートボランティア等との協働活動にも配慮した整備を進めます。

また、学校と放課後児童クラブが日常的な連携を図りやすいよう居室の配置を考慮するなど、児童が安全に安心して過ごせる居場所を提供します。

さらに、地域の避難所としての役割を担う防災拠点としての整備も進めます。

３　学校教育系施設の現況

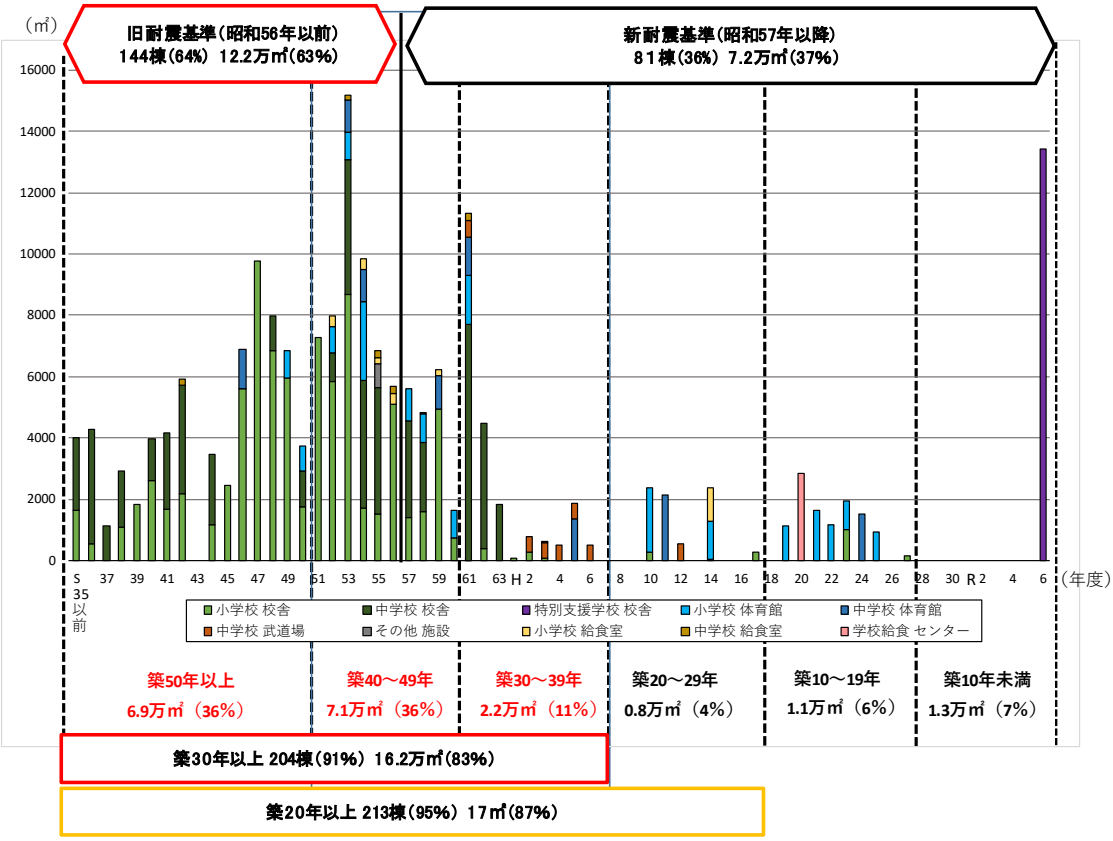
（１）施設の保有状況

学校教育系施設のうち、部室や倉庫等の小規模の付属建物を除いた主要施設は２２５棟で、保有量は全体で１９.５万㎡にのぼります。そのうち、小学校は 147 棟、11 万㎡で全保有量の約５６％、中学校は 74 棟、７万㎡で全保有量の約３６％となります。

全保有施設のうち、建築年が昭和 56 年５月 31 日以前（以下「旧耐震基準」という。）の施設は、12.2 万㎡保有しており、全体の約６３％を占めています。

また、築 30 年以上経過した施設は １６.２万㎡で全体の約 ８３％を占めており、大規模改修や改築の検討が必要な時期を迎えています。

【築年別整備状況】



（２）施設の利用状況等の把握

対象施設の状況を次頁以降に示します。

※施設状況シート内「4 課題」の将来人口に関する記述については、「各務原市学校適正規模・適正配置等に関する基本計画」より抜粋したものです。

基準日：令和7年4月1日

【施設状況シート】

施設番号	1

施設名称	那加第一小学校
所在地	那加手力町22番地5
施設所管課	教育委員会事務局教育施設管理課
施設類型（大分類）	学校教育系施設
施設類型(中分類)	学校
建築年度（西暦）	施設内訳のとおり
延床面積（㎡）	10,466.50
構造	施設内訳のとおり

	施設内訳　（　）内は構造	建築年度（西暦）	延床面積（㎡）
1	東舎中央（RC造）	1964	1691.09
2	東舎西（RC造）	1967	1608.83
3	東舎東(西)・(中央)(2～4階)・(東)(2階)（RC造）	1973	1166.51
4	東舎東（東）（3～4階）（RC造）	1979	212.30
5	会議室棟（S造）	1964	123.93
6	屋外トイレ（S造）	1969	14.49
7	プール付属棟（RC造）	1981	50.40
8	機械室（RC造）	1990	89.43
9	東舎西（配膳室）（RC造）	1979	67.58

	施設内訳　（　）内は構造	建築年度（西暦）	延床面積（㎡）
10	屋内運動場（東）（RC造）	2002	1238.41
11	西舎東（RC造）	1965	1505.00
12	配膳室（RC造）	2015	44.53
13	屋外トイレ（W造）	1973	29.00
14	東舎東（東）（1階）（RC造）	1973	139.00
15	渡り廊下（東）（S造）	2015	102.00
16	屋内運動場（西）（RC造）	1998	2118.00
17	渡り廊下（西）（S造）	1998	125.00
18	渡り廊下（中央）（S造）	1998	141.00

現状把握

1　施設の概要

各務原市立学校設置条例に基づき設置

開校時間				休校日等
平日	8:15～16:20	土・日・祝日	－	土・日・祝日、 春・夏・秋・冬休み

2　運営主体、管理方法等

学校管理者：校長（各務原市立小中学校管理規則　第2条）
教職員：52名（令和6年度）

3　利用状況

＜生徒の推移＞（単位：人）

建築当初	H10	H20	H30	R2	R3	R4	R5	R6
490	602	767	811	791	785	821	844	893

＜学級数の推移＞（単位：クラス）

建築当初	H10	H20	H30	R2	R3	R4	R5	R6
13	18	24	28	26	28	31	31	34

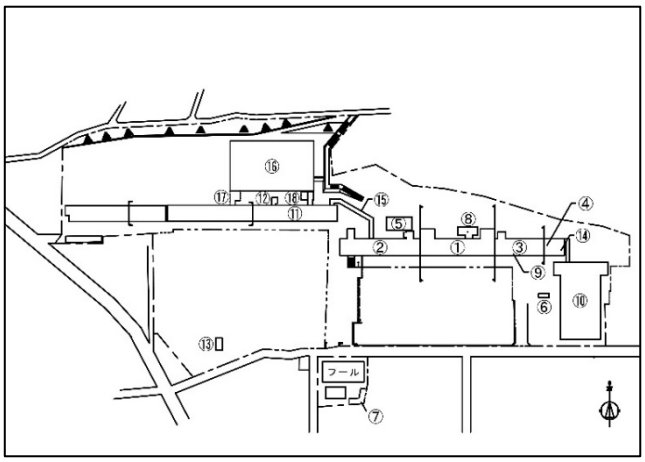
出典：学校基本調査（以降共通）

4　課題（利用実態・特徴、利用者からの要望、施設の問題点、今後の利用見込み等）

児童数は、令和12年まで大きな減少なく推移することが推計されている。
近年の学級数の増加に伴い、教室数に余裕がない。

5　類似施設（市内で最も近接した類似機能を持つ公共施設・民間施設はどこか）

類似機能の施設の有無	あり	施設名	那加第三小学校	おおよその直線距離（m）	1,300



基準日：令和7年4月1日

【施設状況シート】

施設番号	2

施設名称	那加第二小学校
所在地	那加雲雀町1番地
施設所管課	教育委員会事務局教育施設管理課
施設類型（大分類）	学校教育系施設
施設類型（中分類）	学校
建築年度（西暦）	施設内訳のとおり
延床面積（㎡）	6,814.51
構造	施設内訳のとおり

	施設内訳　（　）内は構造	建築年度（西暦）	延床面積（㎡）
1	北舎東（西）（RC造）	1970	1340.32
2	北舎中央（RC造）	1971	1195.28
3	北舎西（1階）（RC造）	1972	565.83
4	北舎西（2～3階）（RC造）	1978	171.00
5	北舎東（東）（RC造）	1978	171.00
6	機械室（RC造）	1971	81.00
7	南舎（RC造）	1972	1829.81
8	給食室（RC造）	1981	196.89

	施設内訳　（　）内は構造	建築年度（西暦）	延床面積（㎡）
9	屋外トイレ（B造）	1982	38.43
10	屋内運動場（RC造）	1982	1034.51
11	印刷室棟（S造）	1982	30.83
12	プール付属棟（RC造）	1982	60.00
13	職員トイレ棟（S造）	1986	18.55
14	渡り廊下（RC造）	1972	27.60
15	倉庫（S造）	1971	53.46

現状把握

1　施設の概要

各務原市立学校設置条例に基づき設置

開校時間				休校日等
平日	8:15～16:20	土・日・祝日	－	土・日・祝日、 春・夏・秋・冬休み

2　運営主体、管理方法等

学校管理者：校長（各務原市立小中学校管理規則　第2条）
教職員：36名（令和6年度）

3　利用状況

＜生徒の推移＞（単位：人）

建築当初	H10	H20	H30	R2	R3	R4	R5	R6
1,033	634	606	487	431	443	440	428	429

＜学級数の推移＞（単位：クラス）

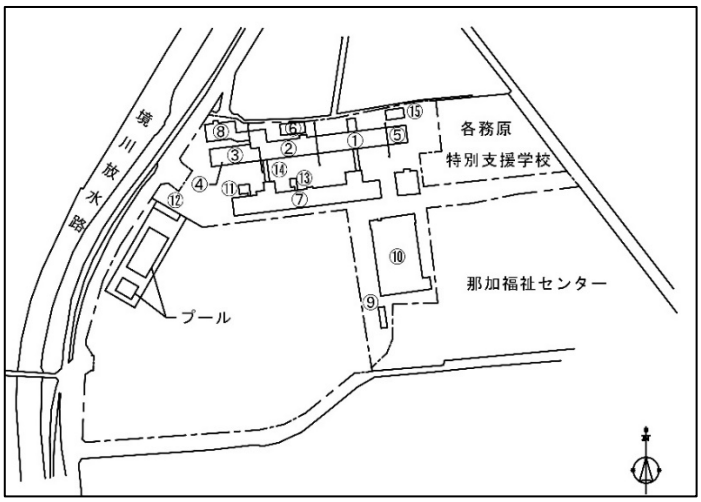
建築当初	H10	H20	H30	R2	R3	R4	R5	R6
26	19	22	18	15	17	17	18	16

4　課題（利用実態・特徴、利用者からの要望、施設の問題点、今後の利用見込み等）

児童数は、減少傾向が続く推計となっている。
現在は、学級数に対して適正な教室数を保有しているが、今後、空いた教室は少人数教室や学習室等へ活用される見込みである。

5　類似施設（市内で最も近接した類似機能を持つ公共施設・民間施設はどこか）

類似機能の施設の有無	あり	施設名	那加中学校	おおよその直線距離（m）	300



基準日：令和7年4月1日

【施設状況シート】

施設番号	3

施設名称	那加第三小学校
所在地	那加東亜町1番地1
施設所管課	教育委員会事務局教育施設管理課
施設類型（大分類）	学校教育系施設
施設類型(中分類)	学校
建築年度（西暦）	施設内訳のとおり
延床面積（㎡）	5,866.72
構造	施設内訳のとおり

	施設内訳　（　）内は構造	建築年度（西暦）	延床面積（㎡）
1	倉庫（B造）	1963	19.84
2	北舎西（RC造）	1972	1107.39
3	北舎中央（RC造）	1973	1491.57
4	北舎東（RC造）	1974	519.57
5	南舎（RC造）	1974	1487.97
6	倉庫（RC造）	1974	67.20
7	渡り廊下（RC造）	1974	90.00
8	プール付属棟（北）（B造）	1981	52.10

	施設内訳　（　）内は構造	建築年度（西暦）	延床面積（㎡）
9	プール付属棟（南）（B造）	1981	18.24
10	屋内運動場（RC造）	1983	930.00
11	屋外トイレ（B造）	1983	12.90
12	倉庫（S造）	2005	25.94
13	灯油庫（B造）	－	11.00
14	倉庫（ストックヤード）（S造）	－	12.00
15	器具庫（東）（S造）	－	9.00
16	器具庫（西）（S造）	－	12.00

現状把握

1　施設の概要

各務原市立学校設置条例に基づき設置

開校時間				休校日等
平日	8:15～16:20	土・日・祝日	－	土・日・祝日、 春・夏・秋・冬休み

2　運営主体、管理方法等

学校管理者：校長（各務原市立小中学校管理規則　第2条）
教職員：28名（令和6年度）

3　利用状況

＜生徒の推移＞（単位：人）

建築当初	H10	H20	H30	R2	R3	R4	R5	R6
771	469	482	459	427	434	413	426	419

＜学級数の推移＞（単位：クラス）

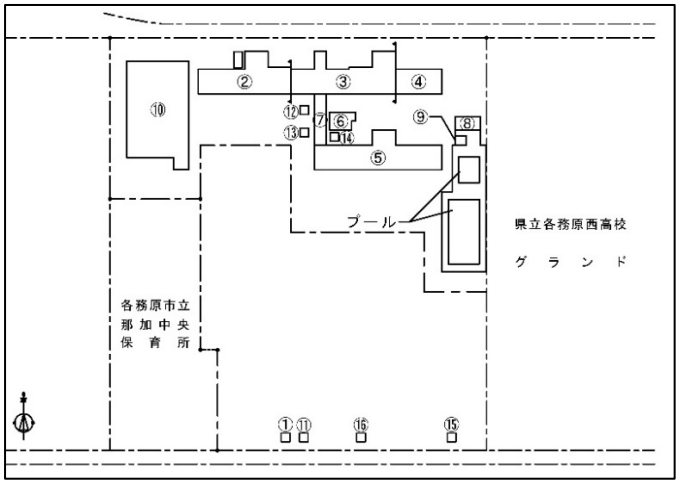
建築当初	H10	H20	H30	R2	R3	R4	R5	R6
23	16	18	17	15	15	14	16	14

4　課題（利用実態・特徴、利用者からの要望、施設の問題点、今後の利用見込み等）

児童数は、安定的に推移する推計となっている。
学級数に対して適正な教室数を保有している。
駐車場が狭く児童の送り迎えや引き渡しの際に交通渋滞が発生する。

5　類似施設（市内で最も近接した類似機能を持つ公共施設・民間施設はどこか）

類似機能の施設の有無	あり	施設名	那加中学校	おおよその直線距離（m）	300



基準日：令和7年4月1日

【施設状況シート】

施設番号	4

施設名称	尾崎小学校
所在地	尾崎南町3丁目2番地
施設所管課	教育委員会事務局教育施設管理課
施設類型（大分類）	学校教育系施設
施設類型(中分類)	学校
建築年度（西暦）	施設内訳のとおり
延床面積（㎡）	6,295.79
構造	施設内訳のとおり

	施設内訳　（　）内は構造	建築年度（西暦）	延床面積（㎡）
1	南舎中央・東（1階）（RC造）	1976	2483.65
2	南舎東（西）（2～3階）（RC造）	1979	172.10
3	南舎西（RC造）	1981	252.45
4	南舎東（東）（2～3階）（RC造）	1981	514.70
5	北舎東・渡り廊下（RC造）	1977	819.42
6	北舎中央（RC造）	1981	513.00
7	給食室（RC造）	1977	172.26
8	プール付属棟（B造）	1977	82.08
9	屋内運動場（RC造）	1978	866.16

	施設内訳　（　）内は構造	建築年度（西暦）	延床面積（㎡）
10	北舎西（S造）	1989	96.52
11	機械室（北）（RC造）	1994	74.00
12	機械室（南）（RC造）	1997	153.45
13	倉庫（ストックヤード・東）（S造）	2008	5.00
14	倉庫（S造）	1997	21.00
15	倉庫（ストックヤード・西）（S造）	2008	12.00
16	機械室（B造）	1981	21.00
17	器具庫（RC造）	1997	37.00

現状把握

1　施設の概要

各務原市立学校設置条例に基づき設置

開校時間				休校日等
平日	8:15～16:20	土・日・祝日	－	土・日・祝日、 春・夏・秋・冬休み

2　運営主体、管理方法等

学校管理者：校長（各務原市立小中学校管理規則　第2条）
教職員：17名（令和6年度）

3　利用状況

＜生徒の推移＞（単位：人）

建築当初	H10	H20	H30	R2	R3	R4	R5	R6
278	512	456	322	260	221	201	174	165

＜学級数の推移＞（単位：クラス）

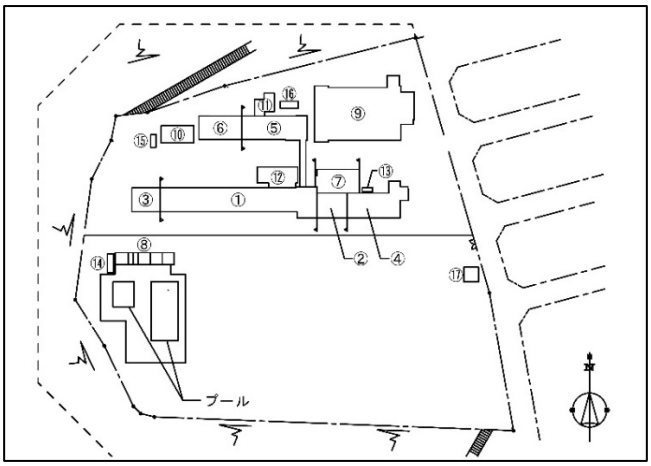
建築当初	H10	H20	H30	R2	R3	R4	R5	R6
9	17	17	14	13	10	9	8	8

4　課題（利用実態・特徴、利用者からの要望、施設の問題点、今後の利用見込み等）

児童数は、減少傾向が続く推計となっている。
学級数が減少したため、空いた教室は少人数教室や学習室等への活用が図られている。

5　類似施設（市内で最も近接した類似機能を持つ公共施設・民間施設はどこか）

類似機能の施設の有無	あり	施設名	那加第一小学校	おおよその直線距離（m）	1,700



基準日：令和7年4月1日

【施設状況シート】

施設番号	5

施設名称	稲羽西小学校
所在地	大佐野町1丁目233番地
施設所管課	教育委員会事務局教育施設管理課
施設類型（大分類）	学校教育系施設
施設類型(中分類)	学校
建築年度（西暦）	施設内訳のとおり
延床面積（㎡）	6,729.80
構造	施設内訳のとおり

	施設内訳　（ ）内は構造	建築年度（西暦）	延床面積（㎡）
1	北舎西（RC造）	1965	1108.44
2	北舎東（RC造）	1966	1671.03
3	南舎西（RC造）	1967	571.48
4	南舎中央（西）（RC造）	1975	425.77
5	南舎中央（東）（RC造）	1979	516.58
6	給食室（RC造）	1981	177.75
7	南舎東（RC造）	1984	438.56
8	倉庫（B造）	1984	44.84
9	倉庫（S造）	1985	33.11

	施設内訳　（ ）内は構造	建築年度（西暦）	延床面積（㎡）
10	プール付属棟（RC造）	1989	90.40
11	機械室（RC造）	1990	114.00
12	渡り廊下（RC造）	1990	272.99
13	南舎玄関棟（RC造）	1991	66.85
14	屋内運動場（RC造）	2007	1145.00
15	灯油庫（B造）	1979	12.00
16	空調機械室（RC造）	1991	29.00
17	倉庫（ストックヤード）（S造）	1990	12.00

現状把握

1　施設の概要

各務原市立学校設置条例に基づき設置

開校時間				休校日等
平日	8:15～16:20	土・日・祝日	－	土・日・祝日、 春・夏・秋・冬休み

2　運営主体、管理方法等

学校管理者：校長（各務原市立小中学校管理規則　第2条）
教職員：28名（令和6年度）

3　利用状況

＜生徒の推移＞（単位：人）

建築当初	H10	H20	H30	R2	R3	R4	R5	R6
701	558	487	378	361	363	356	341	323

＜学級数の推移＞（単位：クラス）

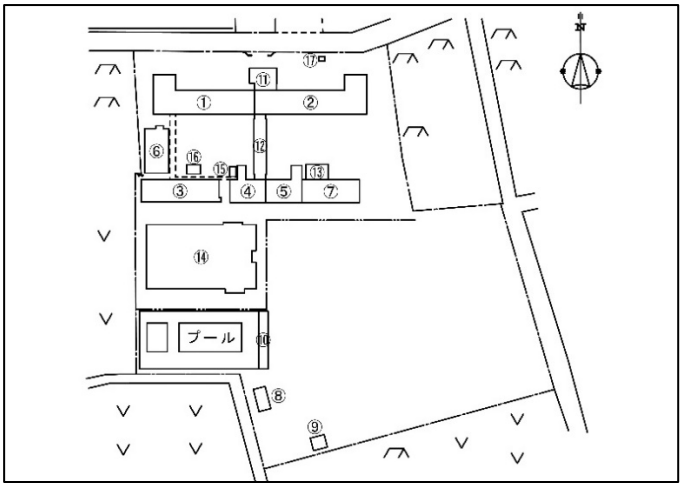
建築当初	H10	H20	H30	R2	R3	R4	R5	R6
18	18	18	14	14	15	15	15	16

4　課題（利用実態・特徴、利用者からの要望、施設の問題点、今後の利用見込み等）

児童数は、減少傾向が続く推計となっている。
現在は、学級数に対して適正な教室数を保有しているが、今後、空いた教室は少人数教室や学習室等へ活用される見込みである。

5　類似施設（市内で最も近接した類似機能を持つ公共施設・民間施設はどこか）

類似機能の施設の有無	あり	施設名	稲羽中学校	おおよその直線距離（m）	1,200



基準日：令和7年4月1日

【施設状況シート】

施設番号	6

施設名称	稲羽東小学校
所在地	前渡西町1393番地
施設所管課	教育委員会事務局教育施設管理課
施設類型（大分類）	学校教育系施設
施設類型(中分類)	学校
建築年度（西暦）	施設内訳のとおり
延床面積（㎡）	4,430.74
構造	施設内訳のとおり

	施設内訳　（　）内は構造	建築年度（西暦）	延床面積（㎡）
1	本舎中央（RC造）	1970	1102.05
2	本舎東（RC造）	1971	1552.54
3	本舎西（RC造）	1981	550.90
4	機械室（RC造）	1971	54.00
5	プール付属棟（B造）	1984	69.10

	施設内訳　（　）内は構造	建築年度（西暦）	延床面積（㎡）
6	倉庫（S造）	1989	140.17
7	屋内運動場（RC造）	2011	923.88
8	屋外トイレ（RC造）	2011	23.10
9	灯油庫（B造）	1971	5.00
10	ポンプ室（B造）	1971	10.00

現状把握

1　施設の概要

各務原市立学校設置条例に基づき設置

開校時間				休校日等
平日	8:15～16:20	土・日・祝日	－	土・日・祝日、 春・夏・秋・冬休み

2　運営主体、管理方法等

学校管理者：校長（各務原市立小中学校管理規則　第2条）
教職員：16名（令和6年度）

3　利用状況

＜生徒の推移＞（単位：人）

建築当初	H10	H20	H30	R2	R3	R4	R5	R6
328	263	238	177	155	140	128	134	120

＜学級数の推移＞（単位：クラス）

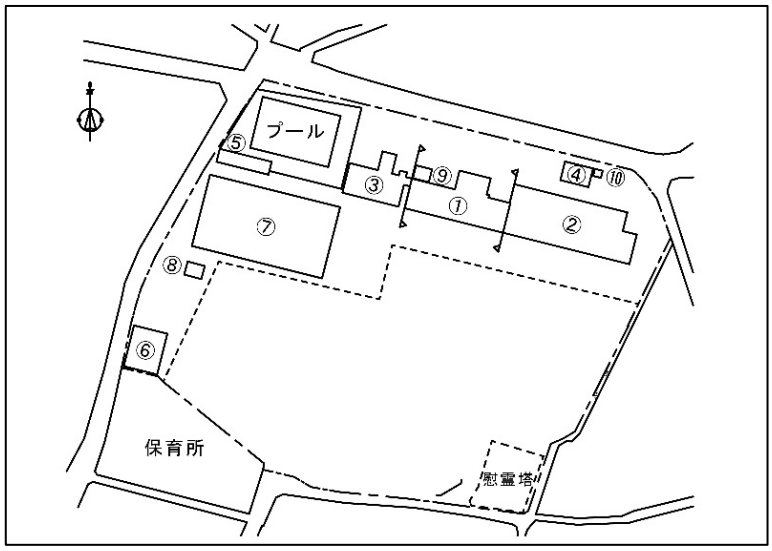
建築当初	H10	H20	H30	R2	R3	R4	R5	R6
13	9	11	7	7	8	8	8	8

4　課題（利用実態・特徴、利用者からの要望、施設の問題点、今後の利用見込み等）

児童数は、減少傾向が続く推計となっている。
学級数が減少したため、空いた教室は少人数教室や学習室等への活用が図られている。

5　類似施設（市内で最も近接した類似機能を持つ公共施設・民間施設はどこか）

類似機能の施設の有無	あり	施設名	陵南小学校	おおよその直線距離（m）	2,400



基準日：令和7年4月1日

【施設状況シート】

施設番号	7

施設名称	川島小学校
所在地	川島河田町1041番地3
施設所管課	教育委員会事務局教育施設管理課
施設類型（大分類）	学校教育系施設
施設類型(中分類)	学校
建築年度（西暦）	施設内訳のとおり
延床面積（㎡）	8,281.31
構造	施設内訳のとおり

	施設内訳　（　）内は構造	建築年度（西暦）	延床面積（㎡）
1	本舎西（RC造）	1976	1323.92
2	本舎中央（RC造）	1977	2169.54
3	本舎東（RC造）	1978	1923.39
4	渡り廊下（RC造）	1978	64.49
5	屋外トイレ（B造）	1978	19.72
6	配膳室（S造）	1979	11.73

	施設内訳　（　）内は構造	建築年度（西暦）	延床面積（㎡）
7	倉庫（西）（B造）	1978	4.69
8	屋内運動場（RC造）	1986	1605.21
9	給食室（S造）	2002	1069.62
10	倉庫（北）（B造）	2002	12.55
11	倉庫（校舎北）（S造）	2003	41.45
12	倉庫（給食室東）（S造）	2002	35.00

現状把握

1　施設の概要

各務原市立学校設置条例に基づき設置

開校時間				休校日等
平日	8:15～16:20	土・日・祝日	－	土・日・祝日、 春・夏・秋・冬休み

2　運営主体、管理方法等

学校管理者：校長（各務原市立小中学校管理規則　第2条）
教職員：49名（令和6年度）

3　利用状況

＜生徒の推移＞（単位：人）

建築当初	H10	H20	H30	R2	R3	R4	R5	R6
759	679	737	776	778	775	783	779	725

＜学級数の推移＞（単位：クラス）

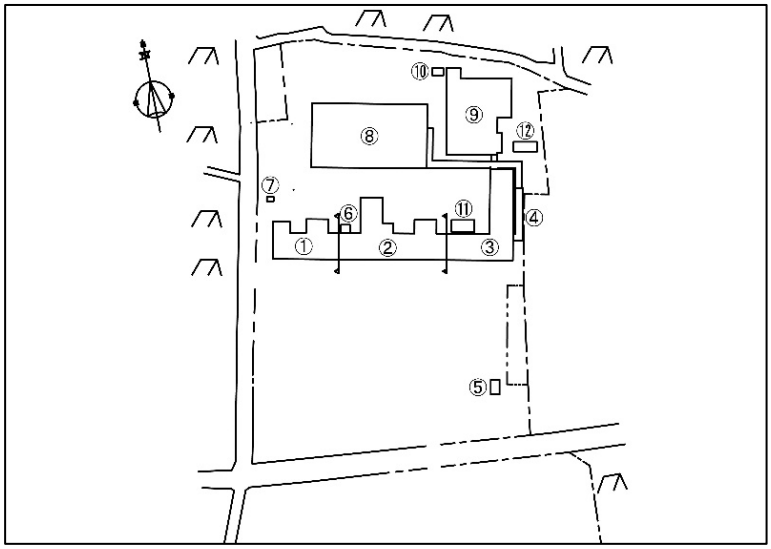
建築当初	H10	H20	H30	R2	R3	R4	R5	R6
19	20	24	28	27	30	29	29	29

4　課題（利用実態・特徴、利用者からの要望、施設の問題点、今後の利用見込み等）

児童数は、令和6年以降緩やかに減少していく推計となっている。
近年の学級数の増加に伴い、教室数に余裕がない。

5　類似施設（市内で最も近接した類似機能を持つ公共施設・民間施設はどこか）

類似機能の施設の有無	あり	施設名	川島中学校	おおよその直線距離（m）	100



基準日：令和7年4月1日

【施設状況シート】

施設番号	8

施設名称	鵜沼第一小学校
所在地	鵜沼西町4丁目179番地
施設所管課	教育委員会事務局教育施設管理課
施設類型（大分類）	学校教育系施設
施設類型(中分類)	学校
建築年度（西暦）	施設内訳のとおり
延床面積（㎡）	6,331.32
構造	施設内訳のとおり

	施設内訳　（　）内は構造	建築年度（西暦）	延床面積（㎡）
1	東舎東（RC造）	1972	1049.20
2	東舎中央（RC造）	1973	1579.34
3	東舎西（RC造）	1974	513.00
4	機械室（東）（RC造）	1973	70.00
5	ポンプ室（RC造）	1973	12.00
6	機械室（西）（RC造）	1974	51.00
7	西舎東（RC造）	1974	1512.90
8	西舎西（RC造）	1981	348.00

	施設内訳　（　）内は構造	建築年度（西暦）	延床面積（㎡）
9	屋内運動場（RC造）	1975	826.05
10	給食室（RC造）	1980	185.60
11	屋外トイレ（B造）	1983	38.43
12	プール付属棟（B造）	1983	85.86
13	倉庫（B造）	1991	35.94
14	倉庫（ストックヤード）（S造）	1973	3.00
15	LPガス庫（B造）	1973	11.00
16	倉庫（S造）	1991	10.00

現状把握

1　施設の概要

各務原市立学校設置条例に基づき設置

開校時間				休校日等
平日	8:15～16:20	土・日・祝日	－	土・日・祝日、 春・夏・秋・冬休み

2　運営主体、管理方法等

学校管理者：校長（各務原市立小中学校管理規則　第2条）
教職員：39名（令和6年度）

3　利用状況

＜生徒の推移＞（単位：人）

建築当初	H10	H20	H30	R2	R3	R4	R5	R6
1,032	543	682	619	628	632	611	623	610

＜学級数の推移＞（単位：クラス）

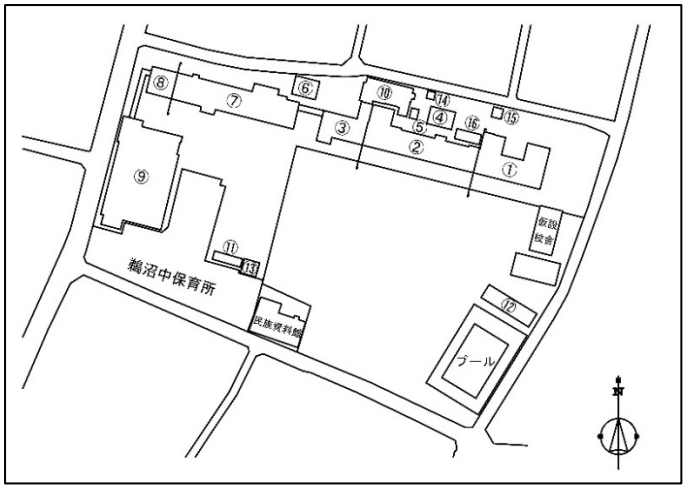
建築当初	H10	H20	H30	R2	R3	R4	R5	R6
27	19	24	24	24	22	23	23	23

4　課題（利用実態・特徴、利用者からの要望、施設の問題点、今後の利用見込み等）

児童数は、増減を繰り返しながら、現状を維持する推計となっている。
学級数に対して適正な教室数を保有している。

5　類似施設（市内で最も近接した類似機能を持つ公共施設・民間施設はどこか）

	類似機能の施設の有無	あり	施設名	八木山小学校	おおよその直線距離（m）	1,400



基準日：令和7年4月1日

【施設状況シート】

施設番号	9

施設名称	鵜沼第二小学校
所在地	鵜沼各務原町2丁目260番地
施設所管課	教育委員会事務局教育施設管理課
施設類型（大分類）	学校教育系施設
施設類型(中分類)	学校
建築年度（西暦）	施設内訳のとおり
延床面積（㎡）	6,577.97
構造	施設内訳のとおり

	施設内訳　（　）内は構造	建築年度（西暦）	延床面積（㎡）
1	南舎西（RC造）	1971	1207.55
2	南舎中央（RC造）	1971	1042.95
3	倉庫（西）（RC造）	1971	84.00
4	南舎中央（配膳室）（RC造）	1971	57.36
5	南舎東（RC造）	1972	268.59
6	北舎中央（西）（RC造）	1972	288.67
7	北舎中央（東）（RC造）	1972	513.00

	施設内訳　（　）内は構造	建築年度（西暦）	延床面積（㎡）
8	北舎西（RC造）	1972	938.64
9	北舎東（RC造）	1977	881.14
10	屋外トイレ（B造）	1974	35.40
11	倉庫（東）（B造）	1981	9.95
12	渡り廊下（RC造）	1972	26.60
13	屋内運動場（RC造）	2010	1164.12
14	プール付属棟（RC造）	2009	60.00

現状把握

1　施設の概要

各務原市立学校設置条例に基づき設置

開校時間				休校日等
平日	8:15～16:20	土・日・祝日	－	土・日・祝日、 春・夏・秋・冬休み

2　運営主体、管理方法等

学校管理者：校長（各務原市立小中学校管理規則　第2条）
教職員：42名（令和6年度）

3　利用状況

＜生徒の推移＞（単位：人）

建築当初	H10	H20	H30	R2	R3	R4	R5	R6
707	558	662	672	676	658	702	662	654

＜学級数の推移＞（単位：クラス）

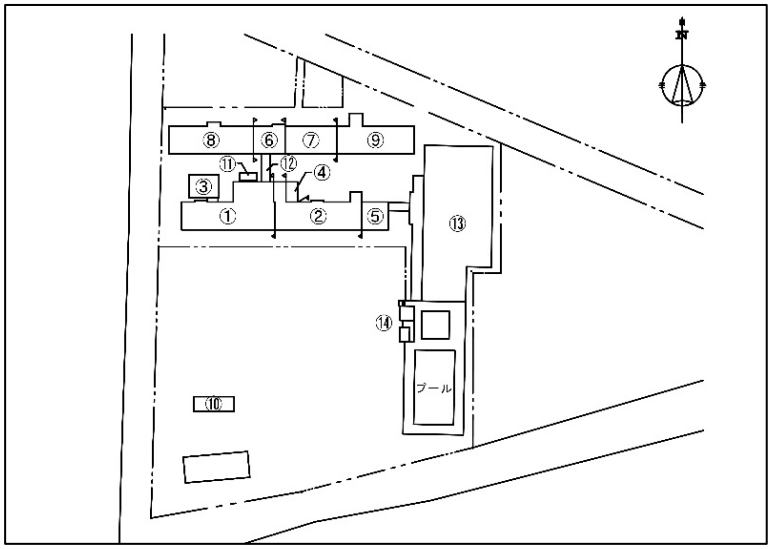
建築当初	H10	H20	H30	R2	R3	R4	R5	R6
20	19	23	24	24	25	25	24	24

4　課題（利用実態・特徴、利用者からの要望、施設の問題点、今後の利用見込み等）

児童数は、令和7年まで増加するが、令和8年以降は安定的に推移する推計となっている。
学級数の増加に伴い、教室数に余裕がない。
駐車場が狭く児童の送り迎えや引き渡しの際に交通渋滞が発生する。

5　類似施設（市内で最も近接した類似機能を持つ公共施設・民間施設はどこか）

類似機能の施設の有無	あり	施設名	陵南小学校	おおよその直線距離（m）	1,700



基準日：令和7年4月1日

【施設状況シート】

施設番号	10

施設名称	鵜沼第三小学校
所在地	新鵜沼台4丁目1番地
施設所管課	教育委員会事務局教育施設管理課
施設類型（大分類）	学校教育系施設
施設類型（中分類）	学校
建築年度（西暦）	施設内訳のとおり
延床面積（㎡）	7,154.63
構造	施設内訳のとおり

	施設内訳　（　）内は構造	建築年度（西暦）	延床面積（㎡）
1	中舎中央（西）（RC造）	1974	1329.20
2	中舎西（RC造）	1980	249.90
3	南舎（RC造）	1982	839.17
4	中舎中央（東）（RC造）	1974	249.90
5	中舎東（RC造）	1975	1266.00
6	渡り廊下（中舎）（RC造）	1975	58.76
7	機械室（RC造）	1975	79.28
8	プール機械室（B造）	1975	20.00
9	プール付属棟（S造）	1975	50.00
10	北舎東（RC造）	1976	1546.38

	施設内訳　（　）内は構造	建築年度（西暦）	延床面積（㎡）
11	北舎西（RC造）	1980	257.19
12	北舎昇降口（RC造）	1976	24.70
13	渡り廊下（北舎）（RC造）	1976	52.00
14	屋内運動場（RC造）	1977	866.63
15	給食室（RC造）	1977	175.58
16	倉庫（B造）	1991	25.94
17	倉庫（ストックヤード）（S造）	1991	3.00
18	倉庫（S造）	1991	8.00
19	灯油庫（B造）	1977	11.00
20	器具庫（B造）	1991	42.00

現状把握

1　施設の概要

各務原市立学校設置条例に基づき設置

開校時間				休校日等
平日	8:15～16:20	土・日・祝日	－	土・日・祝日、 春・夏・秋・冬休み

2　運営主体、管理方法等

学校管理者：校長（各務原市立小中学校管理規則　第2条）
教職員：42名（令和6年度）

3　利用状況

＜生徒の推移＞（単位：人）

建築当初	H10	H20	H30	R2	R3	R4	R5	R6
452	563	489	501	557	578	583	628	634

＜学級数の推移＞（単位：クラス）

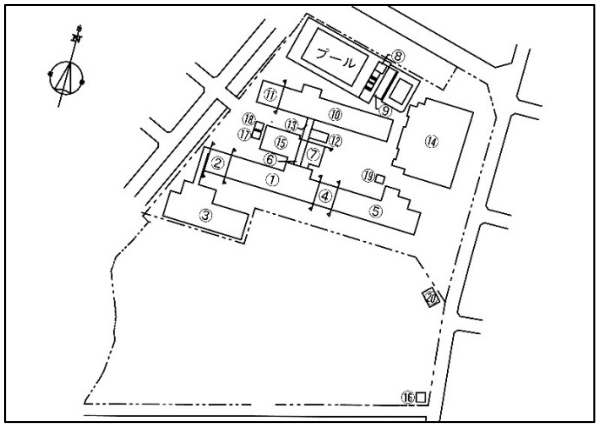
建築当初	H10	H20	H30	R2	R3	R4	R5	R6
13	20	17	18	20	21	22	26	28

4　課題（利用実態・特徴、利用者からの要望、施設の問題点、今後の利用見込み等）

児童数は、令和6年以降減少していく推計となっている。
現在は、学級数に対して適正な教室数を保有しているが、今後、空いた教室は少人数教室や学習室等へ活用される見込みである。

5　類似施設（市内で最も近接した類似機能を持つ公共施設・民間施設はどこか）

類似機能の施設の有無	あり	施設名	緑苑小学校	おおよその直線距離（m）	1,400



基準日：令和7年4月1日

【施設状況シート】

施設番号	11

施設名称	緑苑小学校
所在地	緑苑北1丁目26番地
施設所管課	教育委員会事務局教育施設管理課
施設類型（大分類）	学校教育系施設
施設類型(中分類)	学校
建築年度（西暦）	施設内訳のとおり
延床面積（㎡）	6,120.85
構造	施設内訳のとおり

	施設内訳　（　）内は構造	建築年度（西暦）	延床面積（㎡）
1	北舎西（RC造）	1976	1442.85
2	北舎東（RC造）	1976	390.44
3	プール付属棟（RC造）	1976	63.00
4	中舎西（RC造）	1978	390.34
5	中舎中央（RC造）	1981	567.76
6	南舎北（RC造）	1978	841.05
7	南舎南（RC造）	1981	526.20
8	給食室（RC造）	1979	168.75
9	屋内運動場（RC造）	1979	866.87

	施設内訳　（　）内は構造	建築年度（西暦）	延床面積（㎡）
10	中舎東（RC造）	1985	743.49
11	倉庫（南舎北西）（S造）	1985	25.10
12	器具庫（B造）	1992	34.00
13	倉庫（運動場西）（B造）	1992	21.00
14	倉庫（北舎北）（S造）	1992	9.00
15	灯油庫（B造）	1992	5.00
16	倉庫（南舎北東）（S造）	1992	12.00
17	倉庫（南舎南）（S造）	1992	14.00

現状把握

1　施設の概要

各務原市立学校設置条例に基づき設置

開校時間				休校日等
平日	8:15～16:20	土・日・祝日	－	土・日・祝日、 春・夏・秋・冬休み

2　運営主体、管理方法等

学校管理者：校長（各務原市立小中学校管理規則　第2条）
教職員：13名（令和6年度）

3　利用状況

＜生徒の推移＞（単位：人）

建築当初	H10	H20	H30	R2	R3	R4	R5	R6
85	408	350	165	153	137	130	122	112

＜学級数の推移＞（単位：クラス）

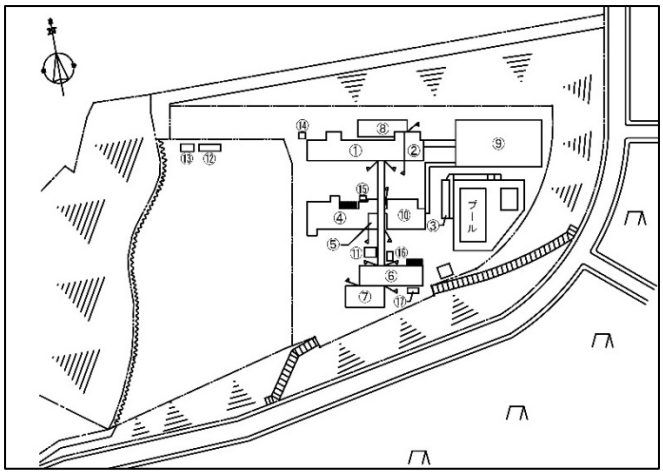
建築当初	H10	H20	H30	R2	R3	R4	R5	R6
6	12	14	8	8	8	8	8	7

4　課題（利用実態・特徴、利用者からの要望、施設の問題点、今後の利用見込み等）

児童数は、減少傾向が続く推計となっている。
昭和40年代から50年代にかけて造成された住宅地は、近い将来、住民の世代交代の過渡期を迎え、子育て世帯が徐々に流入する可能性がある。
学級数が減少したため、空いた教室は少人数教室や学習室等への活用が図られている。

5　類似施設（市内で最も近接した類似機能を持つ公共施設・民間施設はどこか）

類似機能の施設の有無	あり	施設名	緑陽中学校	おおよその直線距離（m）	100



基準日：令和7年4月1日

【施設状況シート】

施設番号	12

施設名称	八木山小学校
所在地	つつじが丘1丁目1番地
施設所管課	教育委員会事務局教育施設管理課
施設類型（大分類）	学校教育系施設
施設類型(中分類)	学校
建築年度（西暦）	施設内訳のとおり
延床面積（㎡）	5,586.73
構造	施設内訳のとおり

	施設内訳　（　）内は構造	建築年度（西暦）	延床面積（㎡）
1	南舎東（RC造）	1977	1105.50
2	南舎中央（東）（RC造）	1977	622.75
3	南舎中央（中央）（RC造）	1978	510.00
4	南舎中央（西）（RC造）	1981	420.13
5	南舎西（RC造）	1987	390.34
6	機械室（RC造）	1978	77.25
7	プール付属棟（B造）	1977	74.71
8	北舎東・渡り廊下（RC造）	1979	691.30
9	北舎西（RC造）	1981	516.00

	施設内訳　（　）内は構造	建築年度（西暦）	延床面積（㎡）
10	給食室（RC造）	1979	181.78
11	屋内運動場（RC造）	1979	857.66
12	倉庫（S造）	1995	30.31
13	器具庫（B造）	1995	42.00
14	倉庫（プール南）（S造）	1995	34.00
15	灯油庫（B造）	1981	11.00
16	倉庫（北舎西）（S造）	1995	12.00
17	ポンプ室（B造）	1981	10.00

現状把握

1　施設の概要

各務原市立学校設置条例に基づき設置

開校時間				休校日等
平日	8:15～16:20	土・日・祝日	－	土・日・祝日、 春・夏・秋・冬休み

2　運営主体、管理方法等

学校管理者：校長（各務原市立小中学校管理規則　第2条）
教職員：19名（令和6年度）

3　利用状況

＜生徒の推移＞（単位：人）

建築当初	H10	H20	H30	R2	R3	R4	R5	R6
270	369	255	243	211	202	195	170	158

＜学級数の推移＞（単位：クラス）

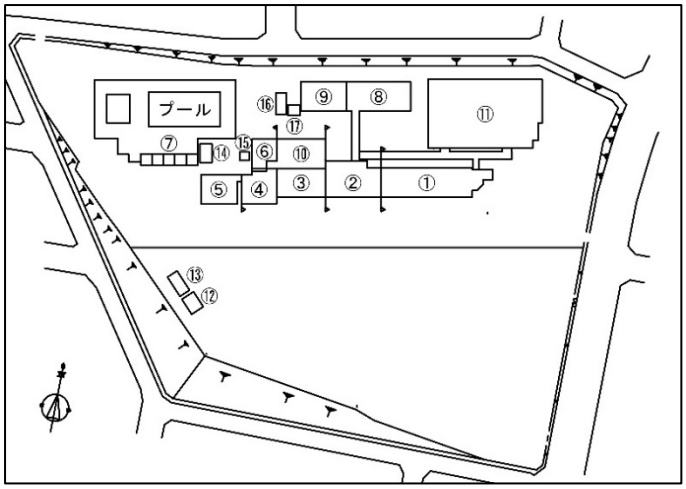
建築当初	H10	H20	H30	R2	R3	R4	R5	R6
10	12	10	10	9	9	9	9	9

4　課題（利用実態・特徴、利用者からの要望、施設の問題点、今後の利用見込み等）

児童数は、減少傾向が続く推計となっている。
昭和40年代から50年代にかけて造成された住宅地は、近い将来、住民の世代交代の過渡期を迎え、子育て世帯が徐々に流入する可能性がある。
学級数が減少したため、空いた教室は少人数教室や学習室等への活用が図られている。

5　類似施設（市内で最も近接した類似機能を持つ公共施設・民間施設はどこか）

類似機能の施設の有無	あり	施設名	鵜沼中学校	おおよその直線距離（m）	800



基準日：令和7年4月1日

【施設状況シート】

施設番号	13

施設名称	陵南小学校
所在地	鵜沼大伊木町4丁目425番地
施設所管課	教育委員会事務局教育施設管理課
施設類型（大分類）	学校教育系施設
施設類型（中分類）	学校
建築年度（西暦）	施設内訳のとおり
延床面積（㎡）	5,922.56
構造	施設内訳のとおり

	施設内訳　（　）内は構造	建築年度（西暦）	延床面積（㎡）
1	南舎（RC造）	1984	3246.76
2	給食室（RC造）	1984	201.00
3	北舎（RC造）	1984	1273.71
4	倉庫（南）（RC造）	1984	99.00
5	倉庫（北）（RC造）	1984	38.50
6	屋外トイレ（B造）	1984	47.59
7	プール付属棟（B造）	1984	60.00

	施設内訳　（　）内は構造	建築年度（西暦）	延床面積（㎡）
8	屋内運動場（RC造）	1985	903.00
9	倉庫（ストックヤード）（S造）	1984	12.00
10	倉庫（S造）	1984	11.00
11	ポンプ室（RC造）	1984	15.00
12	機械室（B造）	1984	10.00
13	LPガス庫（B造）	1984	5.00

現状把握

1　施設の概要

各務原市立学校設置条例に基づき設置

開校時間				休校日等
平日	8:15～16:20	土・日・祝日	－	土・日・祝日、 春・夏・秋・冬休み

2　運営主体、管理方法等

学校管理者：校長（各務原市立小中学校管理規則　第2条）
教職員：25名（令和6年度）

3　利用状況

＜生徒の推移＞（単位：人）

建築当初	H10	H20	H30	R2	R3	R4	R5	R6
760	356	414	456	461	434	406	392	394

＜学級数の推移＞（単位：クラス）

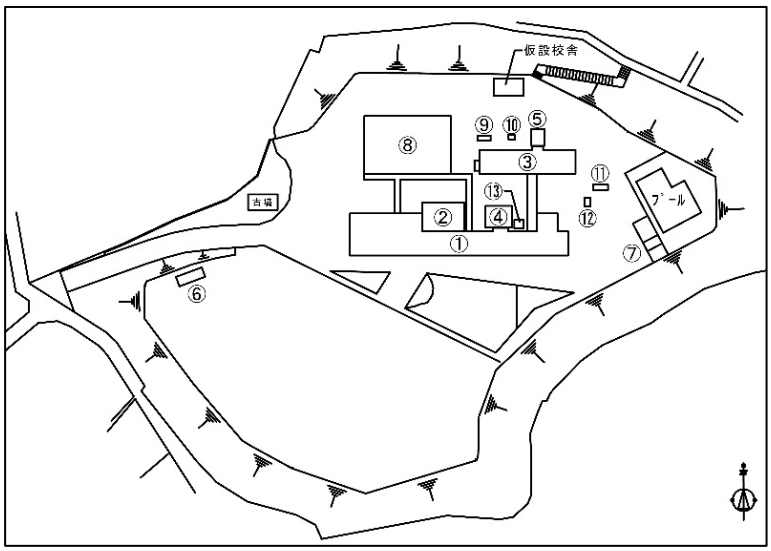
建築当初	H10	H20	H30	R2	R3	R4	R5	R6
21	13	15	17	17	17	16	16	16

4　課題（利用実態・特徴、利用者からの要望、施設の問題点、今後の利用見込み等）

児童数は、令和5年まで減少傾向が続き、令和6年以降は増減を繰り返しながらも、全体としては徐々に減少していく推計となっている。
現在は、学級数に対して適正な教室数を保有しているが、今後、空いた教室は少人数教室や学習室等へ活用される見込みである。

5　類似施設（市内で最も近接した類似機能を持つ公共施設・民間施設はどこか）

類似機能の施設の有無	あり	施設名	鵜沼第二小学校	おおよその直線距離（m）	1,700



基準日：令和7年4月1日

【施設状況シート】

施設番号	14

施設名称	各務小学校
所在地	各務おがせ町4丁目7番地
施設所管課	教育委員会事務局教育施設管理課
施設類型（大分類）	学校教育系施設
施設類型（中分類）	学校
建築年度（西暦）	施設内訳のとおり
延床面積（㎡）	5,213.40
構造	施設内訳のとおり

	施設内訳　（　）内は構造	建築年度（西暦）	延床面積（㎡）
1	東舎東（RC造）	1969	1173.89
2	東舎中央（東）（RC造）	1971	545.55
3	東舎中央（西）（RC造）	1973	1011.84
4	東舎西（RC造）	1974	256.50
5	西舎東（RC造）	1981	278.52
6	西舎西（RC造）	1983	780.75
7	プロパン庫（B造）	1969	9.09

	施設内訳　（　）内は構造	建築年度（西暦）	延床面積（㎡）
8	ポンプ室（B造）	1969	6.76
9	機械室（RC造）	1973	54.00
10	プール付属棟（B造）	1985	82.38
11	屋内運動場（RC造）	2013	937.24
12	屋外トイレ（RC造）	2013	38.88
13	倉庫（S造）	1973	38.00

現状把握

1　施設の概要

各務原市立学校設置条例に基づき設置

開校時間				休校日等
平日	8:15～16:20	土・日・祝日	－	土・日・祝日、 春・夏・秋・冬休み

2　運営主体、管理方法等

学校管理者：校長（各務原市立小中学校管理規則　第2条）
教職員：14名（令和6年度）

3　利用状況

＜生徒の推移＞（単位：人）

建築当初	H10	H20	H30	R2	R3	R4	R5	R6
363	291	298	215	203	184	186	178	163

＜学級数の推移＞（単位：クラス）

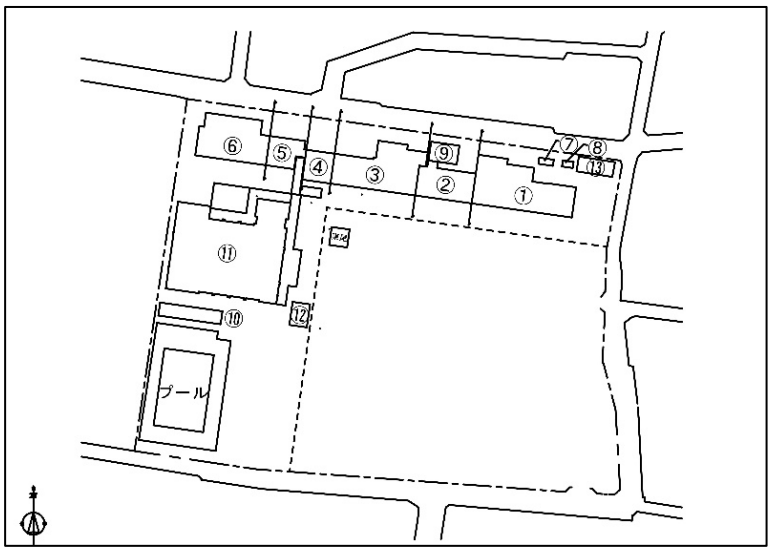
建築当初	H10	H20	H30	R2	R3	R4	R5	R6
12	11	13	9	9	8	8	8	8

4　課題（利用実態・特徴、利用者からの要望、施設の問題点、今後の利用見込み等）

児童数は、減少傾向が続く推計となっている。
学級数が減少したため、空いた教室は少人数教室や学習室等への活用が図られている。

5　類似施設（市内で最も近接した類似機能を持つ公共施設・民間施設はどこか）

類似機能の施設の有無	あり	施設名	中央中学校	おおよその直線距離（m）	1,800



基準日：令和7年4月1日

【施設状況シート】

施設番号	15

施設名称	蘇原第一小学校
所在地	蘇原野口町1丁目1番地
施設所管課	教育委員会事務局教育施設管理課
施設類型（大分類）	学校教育系施設
施設類型(中分類)	学校
建築年度（西暦）	施設内訳のとおり
延床面積（㎡）	9,105.48
構造	施設内訳のとおり

	施設内訳　（　）内は構造	建築年度（西暦）	延床面積（㎡）
1	本舎西（RC造）	1958	979.17
2	本舎中央（西）（RC造）	1958	661.69
3	本舎中央（東）（RC造）	1961	558.33
4	本舎東（南）（RC造）	1963	1078.53
5	東舎北（RC造）	1978	1576.82
6	東舎中央（RC造）	1980	793.50
7	東舎南（RC造）	1982	320.64
8	東舎昇降口（RC造）	1982	63.00
9	本舎東（北）（RC造）	1982	27.45
10	機械室（S造）	1980	21.04
11	屋外トイレ（B造）	1976	57.40

	施設内訳　（　）内は構造	建築年度（西暦）	延床面積（㎡）
12	プール付属棟（北）（B造）	1975	59.34
13	プール付属棟（南）（RC造）	1980	23.10
14	配膳室（RC造）	1982	54.90
15	印刷室棟（RC造）	1982	48.00
16	倉庫（RC造）	1995	44.06
17	屋内運動場（RC造）	2009	1629.00
18	西舎（RC造）	2011	1025.51
19	器具庫（B造）	1978	51.00
20	倉庫（S造）	1990	12.00
21	灯油庫（B造）	1978	11.00
22	ストーブ庫（S造）	1995	10.00

現状把握

1　施設の概要

各務原市立学校設置条例に基づき設置

開校時間				休校日等
平日	8:15～16:20	土・日・祝日	－	土・日・祝日、 春・夏・秋・冬休み

2　運営主体、管理方法等

学校管理者：校長（各務原市立小中学校管理規則　第2条）
教職員：50名（令和6年度）

3　利用状況

＜生徒の推移＞（単位：人）

建築当初	H10	H20	H30	R2	R3	R4	R5	R6
1,092	879	1,021	949	892	859	823	795	777

＜学級数の推移＞（単位：クラス）

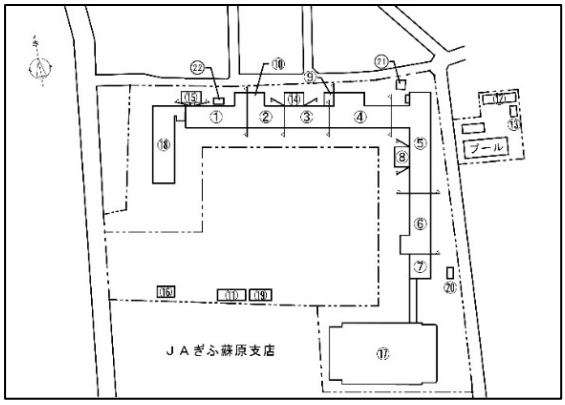
建築当初	H10	H20	H30	R2	R3	R4	R5	R6
27	27	31	32	30	29	29	29	29

4　課題（利用実態・特徴、利用者からの要望、施設の問題点、今後の利用見込み等）

児童数は、減少傾向が続く推計となっている。
学級数が減少したため、空いた教室は少人数教室や学習室等への活用が図られている。
駐車場が狭く児童の送り迎えや引き渡しの際に交通渋滞が発生する。

5　類似施設（市内で最も近接した類似機能を持つ公共施設・民間施設はどこか）

類似機能の施設の有無	あり	施設名	蘇原中学校	おおよその直線距離（m）	800



基準日：令和7年4月1日

【施設状況シート】

施設番号	16

施設名称	蘇原第二小学校
所在地	蘇原沢上町1丁目19番地
施設所管課	教育委員会事務局教育施設管理課
施設類型（大分類）	学校教育系施設
施設類型（中分類）	学校
建築年度（西暦）	施設内訳のとおり
延床面積（㎡）	6,898.99
構造	施設内訳のとおり

	施設内訳　（　）内は構造	建築年度（西暦）	延床面積（㎡）
1	北舎東（RC造）	1972	1417.68
2	北舎中央（RC造）	1972	1752.78
3	北舎西（RC造）	1977	256.50
4	南舎東（RC造）	1973	1452.34
5	倉庫（RC造）	1973	101.25
6	屋内運動場（RC造）	1974	880.00
7	プール付属棟（南）（B造）	1974	16.00
8	屋外トイレ（B造）	1980	22.31
9	南舎西（RC造）	1983	750.64
10	渡り廊下（RC造）	1983	58.72

	施設内訳　（　）内は構造	建築年度（西暦）	延床面積（㎡）
11	プール付属棟（北）（B造）	1987	77.77
12	器具庫（西）（B造）	2005	40.00
13	農具庫（S造）	2005	7.00
14	灯油庫（B造）	1980	11.00
15	倉庫（ストックヤード）（S造）	1983	8.00
16	倉庫（南）（S造）	1983	16.00
17	倉庫（北）（S造）	1983	3.00
18	器具庫（南）（B造）	1983	21.00
19	石灰庫（S造）	1983	7.00

現状把握

1　施設の概要

各務原市立学校設置条例に基づき設置

開校時間				休校日等
平日	8:15～16:20	土・日・祝日	－	土・日・祝日、 春・夏・秋・冬休み

2　運営主体、管理方法等

学校管理者：校長（各務原市立小中学校管理規則　第2条）
教職員：33名（令和6年度）

3　利用状況

＜生徒の推移＞（単位：人）

建築当初	H10	H20	H30	R2	R3	R4	R5	R6
987	608	604	557	518	487	484	472	482

＜学級数の推移＞（単位：クラス）

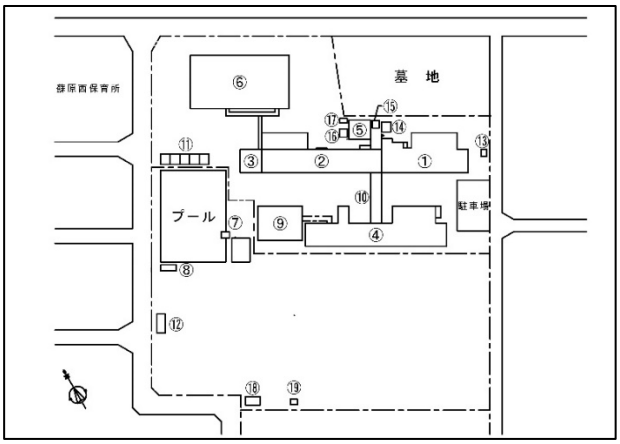
建築当初	H10	H20	H30	R2	R3	R4	R5	R6
25	21	21	21	19	19	19	20	21

4　課題（利用実態・特徴、利用者からの要望、施設の問題点、今後の利用見込み等）

児童数は、減少傾向が続く推計となっている。
学級数が減少したため、空いた教室は少人数教室や学習室等への活用が図られている。

5　類似施設（市内で最も近接した類似機能を持つ公共施設・民間施設はどこか）

類似機能の施設の有無	あり	施設名	蘇原中学校	おおよその直線距離（m）	900



基準日：令和7年4月1日

【施設状況シート】

施設番号	17

施設名称	中央小学校
所在地	各務西町4丁目302番地
施設所管課	教育委員会事務局教育施設管理課
施設類型（大分類）	学校教育系施設
施設類型(中分類)	学校
建築年度（西暦）	施設内訳のとおり
延床面積（㎡）	5,309.82
構造	施設内訳のとおり

	施設内訳　（　）内は構造	建築年度（西暦）	延床面積（㎡）
1	南舎西（RC造）	1978	1538.05
2	南舎中央（西）（RC造）	1978	587.26
3	南舎中央（東）（RC造）	1979	271.44
4	機械室（RC造）	1978	68.95
5	北舎東（RC造）	1978	889.24
6	北舎西・中舎（RC造）	1981	605.42
7	プール付属棟（B造）	1978	107.32
8	屋内運動場（RC造）	1979	866.00

	施設内訳　（　）内は構造	建築年度（西暦）	延床面積（㎡）
9	屋外トイレ（B造）	1983	12.90
10	倉庫（北舎南）（S造）	1985	17.24
11	倉庫（北舎北）（S造）	1983	11.00
12	器具庫（B造）	1983	20.00
13	倉庫（南舎南）（S造）	1983	13.00
14	南舎東（RC造）	2005	281.00
15	配膳室（RC造）	1978	16.00
16	灯油庫（B造）	1983	5.00

現状把握

1　施設の概要

各務原市立学校設置条例に基づき設置

開校時間				休校日等
平日	8:15～16:20	土・日・祝日	－	土・日・祝日、 春・夏・秋・冬休み

2　運営主体、管理方法等

学校管理者：校長（各務原市立小中学校管理規則　第2条）
教職員：25名（令和6年度）

3　利用状況

＜生徒の推移＞（単位：人）

建築当初	H10	H20	H30	R2	R3	R4	R5	R6
464	410	485	429	407	412	407	386	388

＜学級数の推移＞（単位：クラス）

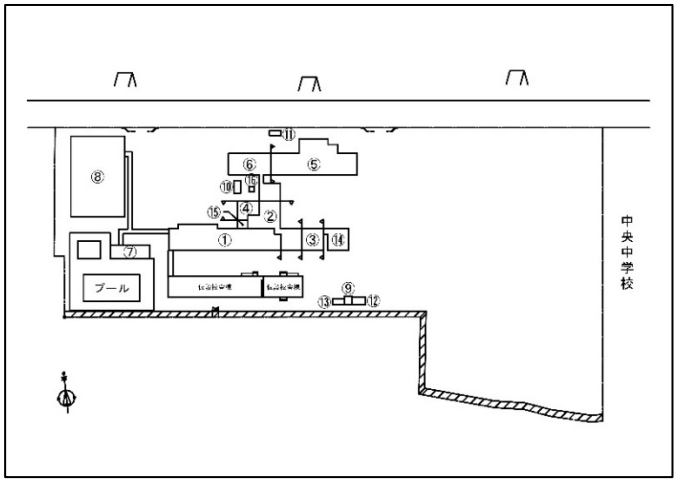
建築当初	H10	H20	H30	R2	R3	R4	R5	R6
13	14	18	17	15	16	16	17	17

4　課題（利用実態・特徴、利用者からの要望、施設の問題点、今後の利用見込み等）

児童数は、多少の増減はあるが、安定的に推移する推計となっている。
学級数に対して適正な教室数を保有している。

5　類似施設（市内で最も近接した類似機能を持つ公共施設・民間施設はどこか）

類似機能の施設の有無	あり	施設名	中央中学校	おおよその直線距離（m）	100



基準日：令和7年4月1日

【施設状況シート】

施設番号	18

施設名称	那加中学校
所在地	那加東亜町48番地
施設所管課	教育委員会事務局教育施設管理課
施設類型（大分類）	学校教育系施設
施設類型(中分類)	学校
建築年度（西暦）	施設内訳のとおり
延床面積（㎡）	10,022.31
構造	施設内訳のとおり

	施設内訳　（　）内は構造	建築年度（西暦）	延床面積（㎡）
1	南舎西（RC造）	1961	797.12
2	南舎東（RC造）	1961	2922.30
3	北舎西（RC造）	1969	2288.04
4	北舎東（RC造）	1978	966.48
5	倉庫（北）（RC造）	1969	87.75
6	器具庫（B造）	1976	15.94
7	屋外トイレ（B造）	1976	15.59
8	給食室（RC造）	1980	229.07

	施設内訳　（　）内は構造	建築年度（西暦）	延床面積（㎡）
9	倉庫（南）（RC造）	1988	106.56
10	渡り廊下（RC造）	1988	414.58
11	武道場（RC造）	1990	505.99
12	部室（B造）	1989	117.55
13	屋内運動場（RC造）	2012	1533.34
14	LPガス庫（B造）	1980	15.00
15	倉庫（ストックヤード）（B造）	1989	7.00

現状把握

1　施設の概要

各務原市立学校設置条例に基づき設置

開校時間				休校日等
平日	8:15～16:20	土・日・祝日	－	土・日・祝日、 春・夏・秋・冬休み

2　運営主体、管理方法等

学校管理者：校長（各務原市立小中学校管理規則　第2条）
教職員：47名（令和6年度）

3　利用状況

＜生徒の推移＞（単位：人）

建築当初	H10	H20	H30	R2	R3	R4	R5	R6
999	564	541	606	638	643	627	599	588

＜学級数の推移＞（単位：クラス）

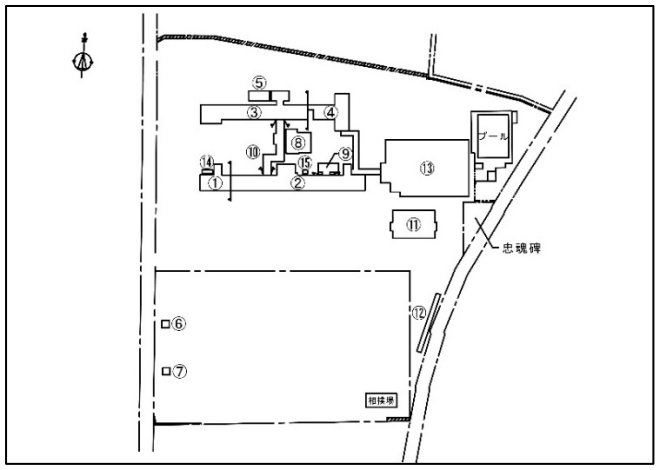
建築当初	H10	H20	H30	R2	R3	R4	R5	R6
25	19	17	20	21	20	22	21	22

4　課題（利用実態・特徴、利用者からの要望、施設の問題点、今後の利用見込み等）

生徒数は、増減を繰り返しながら、現状を維持する推計となっている。
学級数に対して適正な教室数を保有している。

5　類似施設（市内で最も近接した類似機能を持つ公共施設・民間施設はどこか）

類似機能の施設の有無	あり	施設名	那加第二小学校	おおよその直線距離（m）	300



基準日：令和7年4月1日

【施設状況シート】

施設番号	19

施設名称	桜丘中学校
所在地	那加不動丘1丁目77番地
施設所管課	教育委員会事務局教育施設管理課
施設類型（大分類）	学校教育系施設
施設類型（中分類）	学校
建築年度（西暦）	施設内訳のとおり
延床面積（㎡）	9,955.48
構造	施設内訳のとおり

	施設内訳　（　）内は構造	建築年度（西暦）	延床面積（㎡）
1	北舎西（RC造）	1986	1675.35
2	北舎東（RC造）	1986	1544.53
3	南舎西（RC造）	1986	1150.23
4	給食室（RC造）	1986	246.30
5	南舎東（RC造）	1986	2651.51
6	中舎（RC造）	1986	253.65
7	渡り廊下（RC造）	1986	77.00
8	倉庫（北）（RC造）	1986	99.14
9	倉庫（南）（RC造）	1986	157.66
10	部室（S造）	1986	117.56

	施設内訳　（　）内は構造	建築年度（西暦）	延床面積（㎡）
11	器具庫（S造）	1986	61.24
12	屋内運動場（RC造）	1986	1231.43
13	プール付属棟（RC造）	1986	79.00
14	武道場（RC造）	2000	537.88
15	器具庫（S造）	1992	21.00
16	倉庫（S造）	1993	10.00
17	LPガス庫（B造）	1986	10.00
18	倉庫（ストックヤード）（B造）	1986	7.00
19	倉庫（B造）	1992	8.00
20	ポンプ室（B造）	1986	17.00

現状把握

1　施設の概要

各務原市立学校設置条例に基づき設置

開校時間				休校日等
平日	8:15～16:20	土・日・祝日	－	土・日・祝日、 春・夏・秋・冬休み

2　運営主体、管理方法等

学校管理者：校長（各務原市立小中学校管理規則　第2条）
教職員：31名（令和6年度）

3　利用状況

＜生徒の推移＞（単位：人）

建築当初	H10	H20	H30	R2	R3	R4	R5	R6
1,035	605	517	451	466	430	387	362	336

＜学級数の推移＞（単位：クラス）

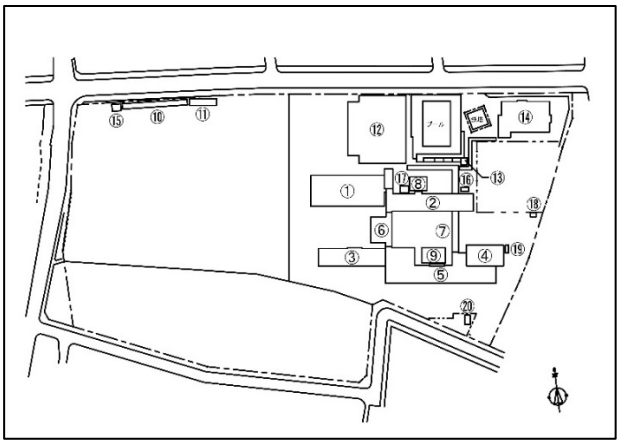
建築当初	H10	H20	H30	R2	R3	R4	R5	R6
25	17	17	15	16	14	14	14	13

4　課題（利用実態・特徴、利用者からの要望、施設の問題点、今後の利用見込み等）

生徒数は、減少傾向が続く推計となっている。
学級数が減少したため、空いた教室は少人数教室や学習室等への活用が図られている。

5　類似施設（市内で最も近接した類似機能を持つ公共施設・民間施設はどこか）

類似機能の施設の有無	あり	施設名	那加第二小学校	おおよその直線距離（m）	500



基準日：令和7年4月1日

【施設状況シート】

施設番号	20

施設名称	稲羽中学校
所在地	上戸町5丁目40番地
施設所管課	教育委員会事務局教育施設管理課
施設類型（大分類）	学校教育系施設
施設類型(中分類)	学校
建築年度（西暦）	施設内訳のとおり
延床面積（㎡）	7,090.33
構造	施設内訳のとおり

	施設内訳　（　）内は構造	建築年度（西暦）	延床面積（㎡）
1	南舎中央（RC造）	1959	856.23
2	南舎西（RC造）	1959	1509.05
3	部室（S造）	1965	59.84
4	南舎東（西）（RC造）	1975	1171.83
5	南舎東（東）（RC造）	1980	714.99
6	器具庫（南）（B造）	1977	33.06
7	器具庫（北）（B造）	1982	49.96
8	北舎（RC造）	1982	895.93

	施設内訳　（　）内は構造	建築年度（西暦）	延床面積（㎡）
9	部室（B造）	1983	100.64
10	屋内運動場（RC造）	1984	1075.84
11	プール付属棟（RC造）	1988	88.32
12	武道場（RC造）	1991	509.64
13	倉庫（S造）	1993	10.00
14	倉庫（ストックヤード）（B造）	1993	7.00
15	倉庫（B造）	1977	4.00
16	LPガス庫（B造）	1977	4.00

現状把握

1　施設の概要

各務原市立学校設置条例に基づき設置

開校時間				休校日等
平日	8:15～16:20	土・日・祝日	－	土・日・祝日、 春・夏・秋・冬休み

2　運営主体、管理方法等

学校管理者：校長（各務原市立小中学校管理規則　第2条）
教職員：24名（令和6年度）

3　利用状況

＜生徒の推移＞（単位：人）

建築当初	H10	H20	H30	R2	R3	R4	R5	R6
520	448	376	310	303	286	284	253	263

＜学級数の推移＞（単位：クラス）

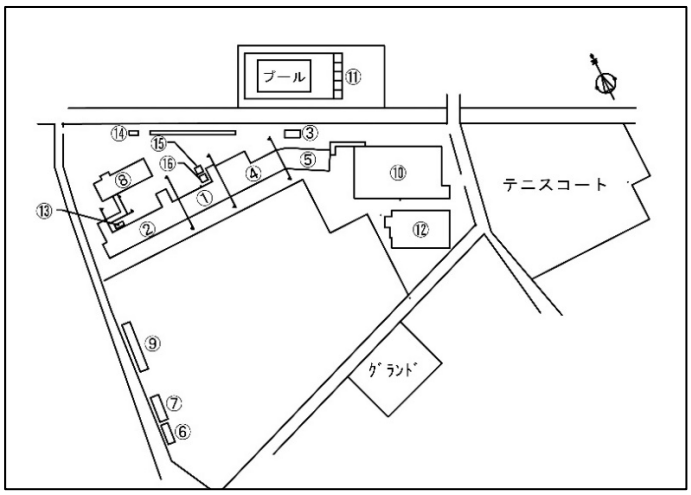
建築当初	H10	H20	H30	R2	R3	R4	R5	R6
12	14	12	10	10	11	11	11	11

4　課題（利用実態・特徴、利用者からの要望、施設の問題点、今後の利用見込み等）

生徒数は、減少傾向が続く推計となっている。
学級数が減少したため、空いた教室は少人数教室や学習室等への活用が図られている。

5　類似施設（市内で最も近接した類似機能を持つ公共施設・民間施設はどこか）

類似機能の施設の有無	あり	施設名	稲羽西小学校	おおよその直線距離（m）	1,200



基準日：令和7年4月1日

【施設状況シート】

施設番号	21

施設名称	川島中学校
所在地	川島河田町1028番地1
施設所管課	教育委員会事務局教育施設管理課
施設類型（大分類）	学校教育系施設
施設類型(中分類)	学校
建築年度（西暦）	施設内訳のとおり
延床面積（㎡）	7,507.66
構造	施設内訳のとおり

	施設内訳　（ ）内は構造	建築年度（西暦）	延床面積（㎡）
1	北舎西（RC造）	1965	1353.55
2	北舎東（RC造）	1966	2475.40
3	機械室（西）（RC造）	1965	64.06
4	機械室（東）（RC造）	1988	45.93
5	屋内運動場（RC造）	1971	1304.21
6	武道場（RC造）	1986	540.78
7	機械室（RC造）	1986	17.01
8	プール付属棟（西）（B造）	1968	123.03

	施設内訳　（ ）内は構造	建築年度（西暦）	延床面積（㎡）
9	プール付属棟（東）（B造）	1968	123.03
10	東舎（RC造）	1987	1239.92
11	倉庫（北東）（B造）	1988	28.01
12	倉庫（小中グラウンド）（B造）	1988	14.06
13	配膳室（RC造）	2002	52.00
14	部室（W造）	2018	102.67
15	倉庫（プール東）（B造）	1988	24.00

現状把握

1　施設の概要

各務原市立学校設置条例に基づき設置

開校時間				休校日等
平日	8:15～16:20	土・日・祝日	－	土・日・祝日、 春・夏・秋・冬休み

2　運営主体、管理方法等

学校管理者：校長（各務原市立小中学校管理規則　第2条）
教職員：31名（令和6年度）

3　利用状況

＜生徒の推移＞（単位：人）

建築当初	H10	H20	H30	R2	R3	R4	R5	R6
326	350	368	311	337	357	361	370	398

＜学級数の推移＞（単位：クラス）

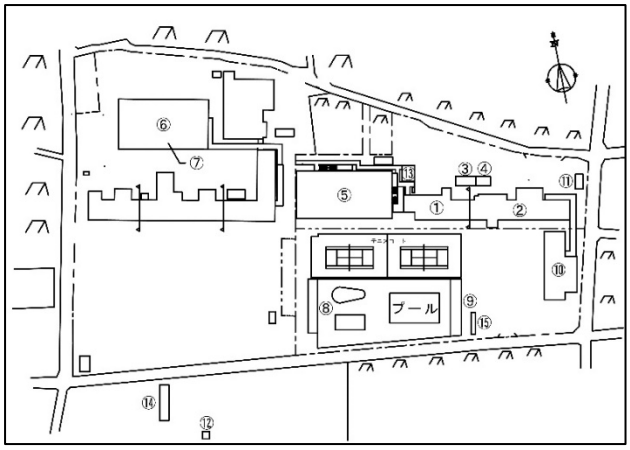
建築当初	H10	H20	H30	R2	R3	R4	R5	R6
9	10	11	11	13	14	14	15	16

4　課題（利用実態・特徴、利用者からの要望、施設の問題点、今後の利用見込み等）

生徒数は、令和6年まで増加し、令和7年以降緩やかに減少する推計となっている。
現在は、学級数に対して適正な教室数を保有しているが、今後、空いた教室は少人数教室や学習室等へ活用される見込みである。

5　類似施設（市内で最も近接した類似機能を持つ公共施設・民間施設はどこか）

類似機能の施設の有無	あり	施設名	川島小学校	おおよその直線距離（m）	100



基準日：令和7年4月1日

【施設状況シート】

施設番号	22

施設名称	鵜沼中学校
所在地	松が丘2丁目100番地
施設所管課	教育委員会事務局教育施設管理課
施設類型（大分類）	学校教育系施設
施設類型（中分類）	学校
建築年度（西暦）	施設内訳のとおり
延床面積（㎡）	10,283.11
構造	施設内訳のとおり

	施設内訳　（　）内は構造	建築年度（西暦）	延床面積（㎡）
1	南舎東（南）（RC造）	1962	1130.04
2	南舎西（RC造）	1963	823.06
3	南舎昇降口（RC造）	1987	7.50
4	南舎西（西）（RC造）	1987	10.00
5	南舎西（東）（RC造）	1987	7.20
6	南舎西（中央）（RC造）	1987	34.40
7	北舎東（南西）（RC造）	1963	456.00
8	北舎東（南東）（RC造）	1963	576.00
9	北舎西（RC造）	1973	1136.39
10	更衣室（B造）	1977	16.93
11	給食室（RC造）	1981	200.05
12	部室（B造）	1982	100.64
13	南舎東（北）（RC造）	1987	2157.13
14	渡り廊下（西）（RC造）	1987	106.50
15	渡り廊下（東）（RC造）	1987	91.50

	施設内訳　（　）内は構造	建築年度（西暦）	延床面積（㎡）
16	北舎中央（RC造）	1988	785.25
17	北舎東（北）（RC造）	1988	584.81
18	屋内運動場（RC造）	1993	1354.10
19	武道場（RC造）	1993	498.51
20	プール付属棟（北）（RC造）	1993	57.40
21	給食室（準備室）（RC造）	1991	15.30
22	倉庫（西渡り廊下）（S造）	1993	9.78
23	プール付属棟（西）（RC造）	2003	49.62
24	倉庫（プール北西）（S造）	2003	6.00
25	倉庫（プール北東）（S造）	2003	16.00
26	灯油庫（B造）	1988	5.00
27	倉庫（ストックヤード）（B造）	1988	7.00
28	倉庫（受水槽東）（B造）	1988	6.00
29	倉庫（部室西）（B造）	1982	35.00

現状把握

1　施設の概要

各務原市立学校設置条例に基づき設置

開校時間				休校日等
平日	8:15～16:20	土・日・祝日	－	土・日・祝日、 春・夏・秋・冬休み

2　運営主体、管理方法等

学校管理者：校長（各務原市立小中学校管理規則　第2条）
教職員：39名（令和6年度）

3　利用状況

＜生徒の推移＞（単位：人）

建築当初	H10	H20	H30	R2	R3	R4	R5	R6
843	804	542	513	538	527	525	521	513

＜学級数の推移＞（単位：クラス）

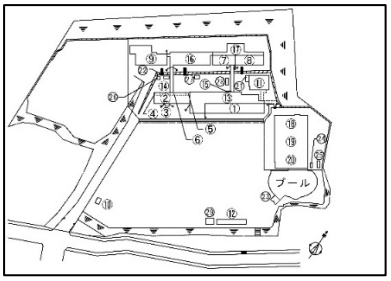
建築当初	H10	H20	H30	R2	R3	R4	R5	R6
20	22	17	16	18	18	18	19	19

4　課題（利用実態・特徴、利用者からの要望、施設の問題点、今後の利用見込み等）

生徒数は、減少傾向が続く推計となっている。
現在は、学級数に対して適正な教室数を保有しているが、今後、空いた教室は少人数教室や学習室等へ活用される見込みである。

5　類似施設（市内で最も近接した類似機能を持つ公共施設・民間施設はどこか）

類似機能の施設の有無	あり	施設名	八木山小学校	おおよその直線距離（m）	800



基準日：令和7年4月1日

【施設状況シート】

施設番号	23

施設名称	緑陽中学校
所在地	緑苑北1丁目4番地
施設所管課	教育委員会事務局教育施設管理課
施設類型（大分類）	学校教育系施設
施設類型（中分類）	学校
建築年度（西暦）	施設内訳のとおり
延床面積（㎡）	8,666.58
構造	施設内訳のとおり

施設内訳　（　）内は構造		建築年度（西暦）	延床面積（㎡）
1	武道場（RC造）	1994	513.00
2	北舎東（東）・渡り廊下（RC造）	1978	1890.82
3	北舎東（西）（RC造）	1978	403.65
4	北舎中央・西（1～2階）（RC造）	1983	1500.06
5	北舎西（3～4階）（RC造）	1987	438.72
6	南舎中央（RC造）	1978	296.58
7	南舎東（RC造）	1978	853.83
8	南舎西（RC造）	1980	1172.10
9	給食室（RC造）	1978	183.79
10	屋内運動場（RC造）	1978	1050.00

施設内訳　（　）内は構造		建築年度（西暦）	延床面積（㎡）
11	プール付属棟（B造）	1978	65.31
12	器具庫（B造）	1979	16.08
13	屋外トイレ（B造）	1987	69.10
14	部室（北グラウンド）（B造）	1987	58.73
15	昇降口（S造）	1988	39.81
16	倉庫（S造）	1993	10.00
17	ポンプ室（B造）	1978	12.00
18	倉庫（ストックヤード）（B造）	1993	7.00
19	部室（南グラウンド）（B造）	1987	86.00

現状把握

1　施設の概要

各務原市立学校設置条例に基づき設置

開校時間				休校日等
平日	8:15～16:20	土・日・祝日	－	土・日・祝日、 春・夏・秋・冬休み

2　運営主体、管理方法等

学校管理者：校長（各務原市立小中学校管理規則　第2条）
教職員：25名（令和6年度）

3　利用状況

＜生徒の推移＞（単位：人）

建築当初	H10	H20	H30	R2	R3	R4	R5	R6
404	599	346	326	306	315	323	311	305

＜学級数の推移＞（単位：クラス）

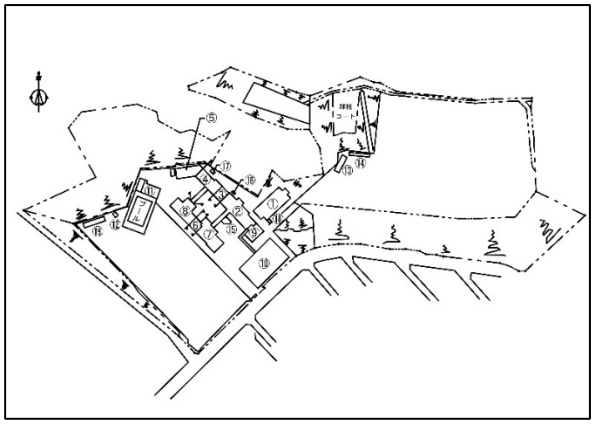
建築当初	H10	H20	H30	R2	R3	R4	R5	R6
12	16	12	11	11	11	12	12	12

4　課題（利用実態・特徴、利用者からの要望、施設の問題点、今後の利用見込み等）

生徒数は、令和9年まで増加し、令和10年以降は減少する推計となっている。
近年、学級数が減少したため、空いた教室は少人数教室や学習室等への活用が図られている。

5　類似施設（市内で最も近接した類似機能を持つ公共施設・民間施設はどこか）

類似機能の施設の有無	あり	施設名	緑苑小学校	おおよその直線距離（m）	100



基準日：令和7年4月1日

【施設状況シート】

施設番号	24

施設名称	蘇原中学校
所在地	蘇原青雲町1丁目10番地
施設所管課	教育委員会事務局教育施設管理課
施設類型（大分類）	学校教育系施設
施設類型(中分類)	学校
建築年度（西暦）	施設内訳のとおり
延床面積（㎡）	9,635.34
構造	施設内訳のとおり

	施設内訳　（　）内は構造	建築年度（西暦）	延床面積（㎡）
1	北舎（RC造）	1967	3558.52
2	給食室（RC造）	1967	168.75
3	南舎東（RC造）	1977	922.67
4	南舎中央（RC造）	1979	268.59
5	南舎西（RC造）	1982	2272.68
6	更衣室（S造）	1977	15.97
7	給食室（配膳室）（RC造）	1983	51.67
8	プール付属棟（S造）	1984	72.24

	施設内訳　（　）内は構造	建築年度（西暦）	延床面積（㎡）
9	屋外トイレ（S造）	1988	11.20
10	屋内運動場・武道場（RC造）	1999	2122.81
11	部室（RC造）	1999	137.24
12	倉庫（S造）	1993	10.00
13	倉庫（ストックヤード）（B造）	1993	7.00
14	ポンプ室（RC造）	1979	11.00
15	LPガス庫（B造）	1979	5.00

現状把握

1　施設の概要

各務原市立学校設置条例に基づき設置

開校時間				休校日等
平日	8:15～16:20	土・日・祝日	－	土・日・祝日、 春・夏・秋・冬休み

2　運営主体、管理方法等

学校管理者：校長（各務原市立小中学校管理規則　第2条）
教職員：50名（令和6年度）

3　利用状況

＜生徒の推移＞（単位：人）

建築当初	H10	H20	H30	R2	R3	R4	R5	R6
549	819	757	758	720	775	757	752	666

＜学級数の推移＞（単位：クラス）

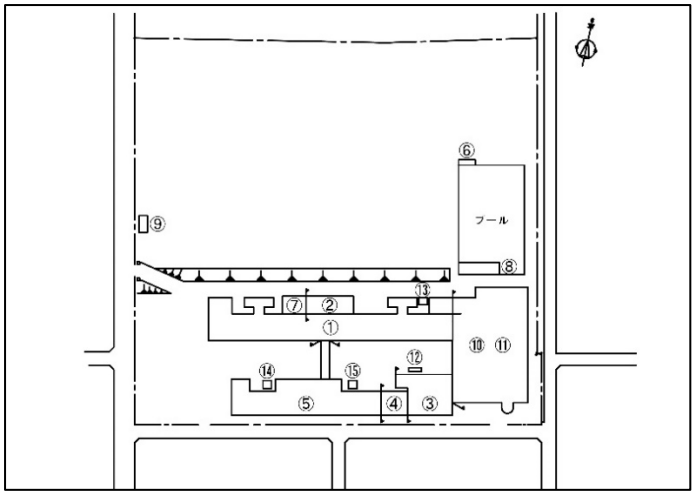
建築当初	H10	H20	H30	R2	R3	R4	R5	R6
14	24	22	24	24	26	25	26	24

4　課題（利用実態・特徴、利用者からの要望、施設の問題点、今後の利用見込み等）

生徒数は、減少傾向が続く推計となっている。
現在は、学級数に対して適正な教室数を保有しているが、今後、空いた教室は少人数教室や学習室等へ活用される見込みである。

5　類似施設（市内で最も近接した類似機能を持つ公共施設・民間施設はどこか）

類似機能の施設の有無	あり	施設名	蘇原第一小学校	おおよその直線距離（m）	800



基準日：令和7年4月1日

【施設状況シート】

施設番号	25

施設名称	中央中学校
所在地	各務西町4丁目358番地1
施設所管課	教育委員会事務局教育施設管理課
施設類型（大分類）	学校教育系施設
施設類型(中分類)	学校
建築年度（西暦）	施設内訳のとおり
延床面積（㎡）	9,447.70
構造	施設内訳のとおり

	施設内訳　（　）内は構造	建築年度（西暦）	延床面積（㎡）
1	北舎西・渡り廊下（西）（RC造）	1979	2448.40
2	北舎東・渡り廊下（東）（RC造）	1980	1524.36
3	南舎西（西）（RC造）	1979	1412.55
4	南舎西（東）（RC造）	1980	735.75
5	倉庫（B造）	1979	12.50
6	プール付属棟（RC造）	1979	52.50
7	プール付属棟（B造）	1986	45.16
8	屋内運動場（RC造）	1979	1050.01

	施設内訳　（　）内は構造	建築年度（西暦）	延床面積（㎡）
9	南舎東（西）（RC造）	1983	754.49
10	南舎東（東）（RC造）	1986	336.60
11	部室（B造）	1984	100.64
12	武道場（RC造）	1992	511.18
13	特別教室棟（S造）	2013	401.56
14	屋外トイレ（B造）	1984	53.00
15	LPガス庫（B造）	1979	5.00
16	倉庫（ストックヤード）（B造）	1979	4.00

現状把握

1　施設の概要

各務原市立学校設置条例に基づき設置

開校時間				休校日等
平日	8:15～16:20	土・日・祝日	－	土・日・祝日、 春・夏・秋・冬休み

2　運営主体、管理方法等

学校管理者：校長（各務原市立小中学校管理規則　第2条）
教職員：56名（令和6年度）

3　利用状況

＜生徒の推移＞（単位：人）

建築当初	H10	H20	H30	R2	R3	R4	R5	R6
665	734	684	773	751	792	788	772	740

＜学級数の推移＞（単位：クラス）

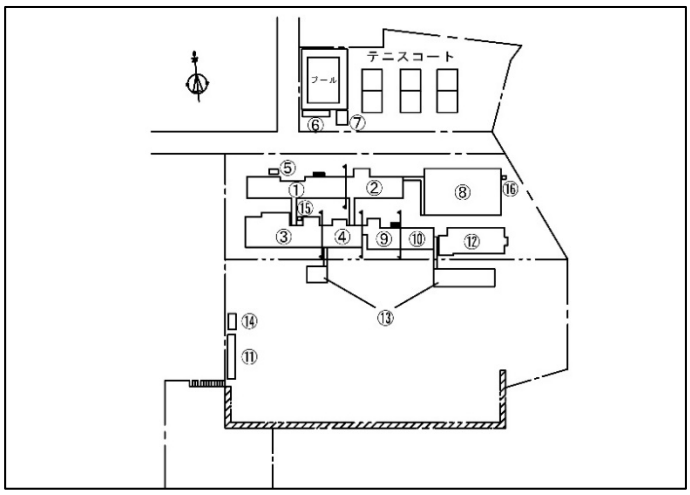
建築当初	H10	H20	H30	R2	R3	R4	R5	R6
16	21	21	26	24	25	27	28	27

4　課題（利用実態・特徴、利用者からの要望、施設の問題点、今後の利用見込み等）

生徒数は、多少の増減はあるが、安定的に推移する推計となっている。
近年の学級数の増加に伴い、教室数に余裕がない。

5　類似施設（市内で最も近接した類似機能を持つ公共施設・民間施設はどこか）

類似機能の施設の有無	あり	施設名	中央小学校	おおよその直線距離（m）	100



基準日：令和7年4月1日

【施設状況シート】

施設番号	26

施設名称	かかみがはら支援学校
所在地	鵜沼羽場町2丁目3番地1
施設所管課	教育委員会事務局教育施設管理課
施設類型（大分類）	学校教育系施設
施設類型(中分類)	学校
建築年度（西暦）	施設内訳のとおり
延床面積（㎡）	13,440.42
構造	施設内訳のとおり

	施設内訳　（　）内は構造	建築年度（西暦）	延床面積（㎡）
1	校舎棟（RC造）	2024	13158.82
2	作業棟（S造）	2024	281.60

現状把握

1　施設の概要

各務原市立学校設置条例に基づき、知的障がい、肢体不自由、病弱者を対象に、小学部・中学部・高等部の特別支援学校として運営

開校時間				休校日等
平日	8:00～16:10	土・日・祝日	－	土・日・祝日、 春・夏・秋・冬休み

2　運営主体、管理方法等

学校管理者：校長（各務原市立小中学校管理規則　第2条）
教員：139名（令和7年度）

3　利用状況

＜生徒の推移＞（単位：人）※R7.4月　移転開校

R7
166

＜学級数の推移＞（単位：クラス）

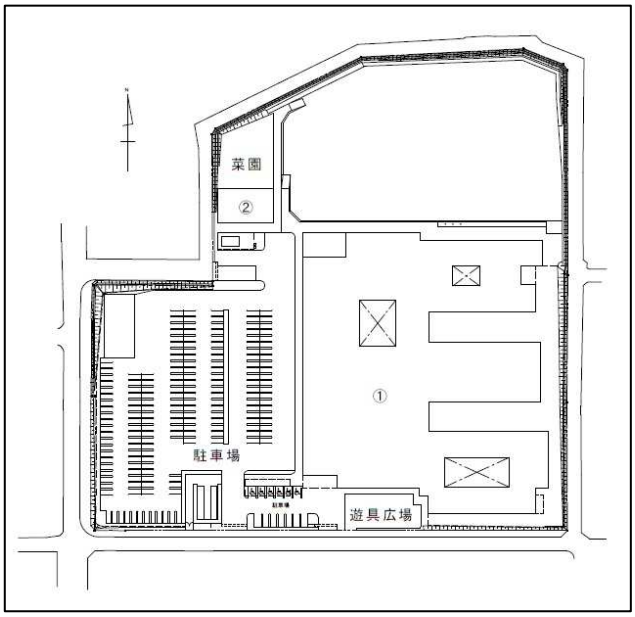
R7
40

4　課題（利用実態・特徴、利用者からの要望、施設の問題点、今後の利用見込み等）

児童・生徒数は、令和8年以降増加傾向が続く推計となっている。

5　類似施設（市内で最も近接した類似機能を持つ公共施設・民間施設はどこか）

類似機能の施設の有無	あり	施設名	鵜沼中学校	おおよその直線距離（m）	200



基準日：令和7年4月1日

【施設状況シート】

施設番号	27

施設名称	学校給食センター
所在地	各務おがせ町6丁目2番地
施設所管課	教育委員会事務局学校給食センター
施設類型（大分類）	学校教育系施設
施設類型(中分類)	その他教育施設
建築年度（西暦）	2008
延床面積（㎡）	2,837.40
構造	S造

現状把握

1 施設の概要

各務原市学校給食センター条例に基づき設置

業務時間				休所日等
平日	8:30～17:15	土・日・祝日	－	土・日・祝日、 春・夏・秋・冬休み

2 運営主体、管理方法等

施設管理者：給食センター所長（各務原市学校給食センター条例施行規則）
市職員：4名、県職員（栄養教諭）：2名

3 利用状況

＜給食数推移＞（単位：食）

建築当初	H25	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
1,138,950	1,152,427	1,121,603	1,000,936	1,044,972	1,080,045	1,091,554	1,155,186	1,169,949

＜給食提供学校数＞（単位：校）

建築当初	H25	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
11	11	11	11	12	12	12	13	13

4 課題（利用実態・特徴、利用者からの要望、施設の問題点、今後の利用見込み等）

・1日の最大調理可能食数は6,000食だが、近年は児童生徒数の減少により調理食数も減少傾向にある。
・建築から10年以上が経過したため、調理設備等に故障が頻発している。

5 類似施設（市内で最も近接した類似機能を持つ公共施設・民間施設はどこか）

類似機能の施設の有無	あり	施設名	川島学校給食調理場	おおよその 直線距離（m）	8,600

基準日：令和7年4月1日

【施設状況シート】

施設番号	28

施設名称	教育支援センターさくらまえみや
所在地	前渡西町1415番地
施設所管課	教育委員会事務局学校教育課
施設類型（大分類）	学校教育系施設
施設類型（中分類）	その他教育施設
建築年度（西暦）	1980
延床面積（㎡）	780.16
構造	RC造

現状把握

1 施設の概要

令和元年10月25日付け文科省通知「不登校児童生徒への支援の在り方」（元文科初第698号）に基づき設置

開校時間				休所日等
平日	9:15～15:00	土・日・祝日	－	土・日・祝日、 春・夏・秋・冬休み

2 運営主体、管理方法等

施設管理者：教育委員会事務局委学校教育課
職員：会計年度職員2人、有償ボランティア2人

3 利用状況

＜施設利用者の推移＞（単位：人） ※R4.10.31開館

建築当初	R4	R5	R6
－	46	38	54

利用料は無料

4 課題（利用実態・特徴、利用者からの要望、施設の問題点、今後の利用見込み等）

火災等の避難時のために、2階の各教室から外にいつでも出られる状況。利用する児童生徒は不安定さを抱えている可能性もあるため、勝手に外に出て行方不明になることがないか、また最悪の想定として飛び降りたりしないか、危惧される。
既存の建物をほぼ改修工事を行わず利用しており、建築から40年以上経過しているため、今後改修が必要になる可能性がある。

5 類似施設（市内で最も近接した類似機能を持つ公共施設・民間施設はどこか）

類似機能の施設の有無	あり	施設名	教育支援センターあすなろ教室 （産業文化センター4F）	おおよその 直線距離（m）	4,850

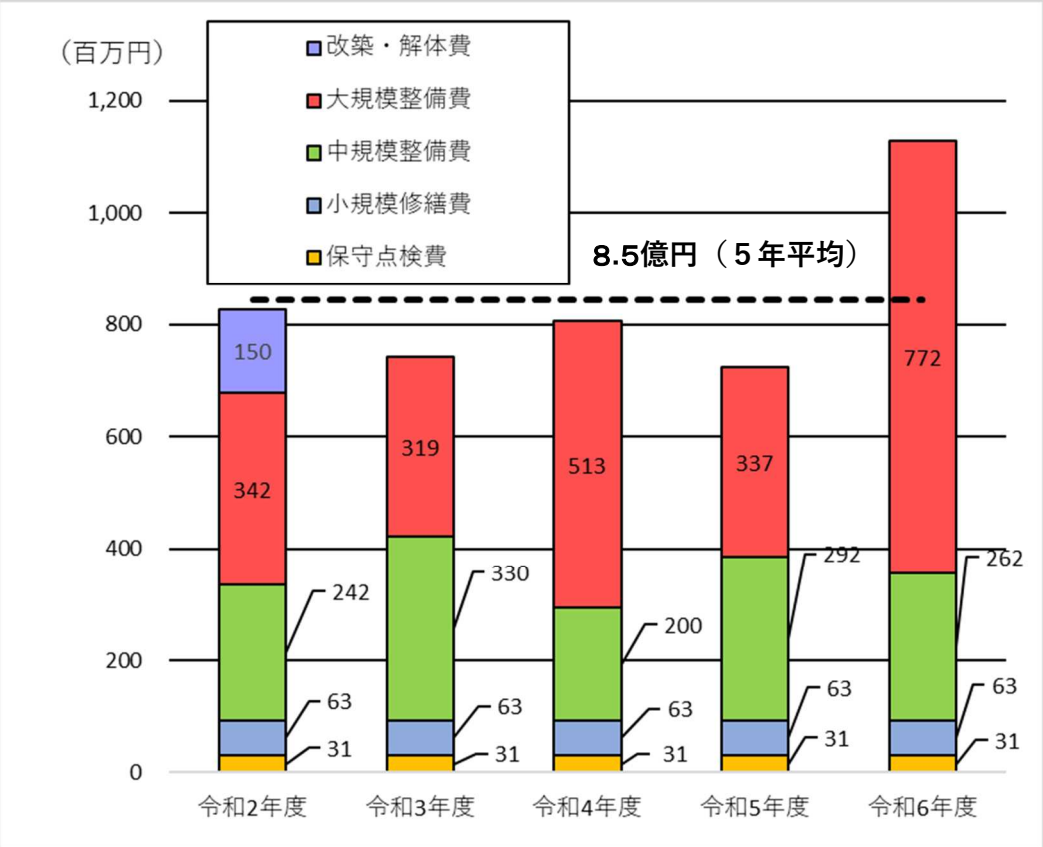
（３）学校教育系施設整備の現状

過去 5 年間で施設の修繕や機能向上のための工事、改築などに要した経費は、平均で約８.５億円/年となっています。

項目別にみると、改築・解体費が約 0.３億円/年、大規模改修費が約４.６億円/年、中規模整備費が約２.７億円/年、小規模修繕費が約 0.６億円/年、保守点検費が約０.３億円/年となっています。

そのうち、令和６年度の大規模整備費は、体育館空調設備整備工事に多額の費用を要しています。

【学校教育系施設整備費の推移】



学校教育系施設の整備は、校舎等建物の外壁や屋上の改修、給排水設備、機械設備及び電気設備等の改修、安全を確保するための改修、新たな教育内容・活動の実践に必要な改修など、個々の部位の状況等に応じて計画的に実施しています。

また、市内全小中学校の耐震化対策は平成 26 年度に完了し、平成 28 年度には校舎の冷暖房設備の設置も完了しています。

（４）個別施設の状態

１）構造躯体の健全性の把握

学校教育系施設の長寿命化の検討にあたり、構造躯体の健全性を整理し、長期間の建物使用の可否を評価する必要があります。そのため、文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」で示された評価方法等を参考に、建物の築年数、耐震診断報告書におけるコンクリート圧縮強度試験結果等を用いて構造躯体の健全性を評価しました。本市の評価基準は以下の通りです。

■評価基準

- 旧耐震基準の鉄筋コンクリート造の建物については、コンクリート圧縮強度の平均値が 20N/mm²未満または最小値が 13.5N/mm²以下のもの、及び築年数が 60 年を超えるものは試算上の区分を「要調査」とする。
- 旧耐震基準の鉄筋コンクリート造の建物でコンクリート圧縮強度試験を実施していない建物については試算上の区分を「調査」とする。
- 上記以外は、試算上の区分を「長寿命化」とする。

上記評価基準に照らし合わせた結果、鉄筋コンクリート造の校舎のうち４棟が「要調査」、７棟が「調査」、それ以外は「長寿命化」と区分しました。

また、非コンクリート造の学校給食センターについては、昭和 56 年６月１日以降（以下「新耐震基準」という。）に建設された建物であることから、「長寿命化」と区分しました。

２）構造躯体以外の劣化状況の把握

構造躯体以外の劣化部位の修繕コストや改修等の優先順位を計画に反映させるため、健全性及び劣化状況を把握します。

①評価方法

劣化状況の評価にあたっては、建築基準法第 12 条に基づく定期報告や建築技師等による現地劣化状況評価の結果及び主な設備の更新状況等を踏まえ、以下の評価基準（参考：「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」）に照らし合わせ、A～D の４段階で評価しました。

評価基準

目視による評価【屋根・屋上、外壁】

良好 ▲ 劣化

評価	基準
A	概ね良好
B	部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）
C	広範囲に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し）
D	早急に対応する必要がある （安全上、機能上、問題あり） （躯体の耐久性に影響を与えている） （設備が故障し施設運営に支障を与えている）等

経過年数による評価
【内部仕上げ、電気設備、機械設備】

良好 ▲ 劣化

評価	基準
A	20年未満
B	20～40年
C	40年以上
D	経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合

②健全度の算定

健全度は、各建物の 5 つの部位について劣化状況を 4 段階で評価し、100 点満点で数値化した評価指標とします。①部位の評価点と②部位のコスト配分を下表のように定め、③健全度を 100 点満点で算定しています。

①部位の評価点

	評価点
A	100
B	75
C	40
D	10

②部位のコスト配分

部位	コスト配分
1 屋根・屋上	5.1
2 外壁	17.2
3 内部仕上げ	22.4
4 電気設備	8.0
5 機械設備	7.3
計	60

③健全度

総和（部位の評価点×部位のコスト配分）÷ 60

※100点満点にするためにコスト配分の合計値で割っている。
※健全度は、数値が小さいほど劣化が進んでいる ことを示す。

健全度計算例

	評価		評価点		配分		
1 屋根・屋上	C	→	40	×	5.1	＝	204
2 外壁	D	→	10	×	17.2	＝	172
3 内部仕上げ	B	→	75	×	22.4	＝	1,680
4 電気設備	A	→	100	×	8.0	＝	800
5 機械設備	C	→	40	×	7.3	＝	292
					計		3,148
						÷	60
					健全度		52

③調査単位

今後の管理を効率的に行えるように、「3　学校教育系施設の現況　（2）施設の利用状況等の把握」で示した施設状況シートの施設内訳に掲載したエキスパンションジョイント（建物どうしの接続部）ごとに整理するのではなく、倉庫、部室、便所等の小規模な建物を除いた棟単位で計上しました（保有面積は小数点以下切下げ）。

④建物情報一覧表

対象施設の躯体評価及び劣化状況評価の結果は表のとおりになります。

なお、築年数は２０２５（令和７）年度時点の経過年数を示しています。また、合棟（合体）されている校舎については、同一棟内の最も古い建築年度を採用しています。

：築50年以上　：築30年以上

A ：概ね良好　B ：部分的に劣化　C ：広範囲に劣化　D ：早急に対応する必要がある

建物基本情報							躯体評価		劣化状況評価					
番号	施設名	建物名	建物用途	延床面積（㎡）	建築年	築年数	耐震基準	試算上の区分	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度（100点満点）
1	那加第一小学校	東舎	校舎	5,009	S39	61	旧	長寿命	A	A	C	C	A	69
1	那加第一小学校	西舎	校舎	1,651	S40	60	旧	長寿命	B	A	C	C	C	60
1	那加第一小学校	体育館・東	体育館	1,238	H14	23	新	長寿命	B	B	A	A	A	90
1	那加第一小学校	体育館・西	体育館	2,118	H10	27	新	長寿命	B	B	B	B	B	75
2	那加第二小学校	北舎	校舎	3,443	S45	55	旧	長寿命	A	A	C	C	C	62
2	那加第二小学校	南舎	校舎	1,906	S47	53	旧	長寿命	A	A	C	C	C	62
2	那加第二小学校	給食室	給食室	196	S56	44	旧	調査	A	B	B	B	B	77
2	那加第二小学校	体育館	体育館	1,034	S57	43	新	長寿命	C	B	B	B	B	72
3	那加第三小学校	北舎	校舎	3,208	S47	53	旧	長寿命	B	A	C	C	A	67
3	那加第三小学校	南舎	校舎	1,487	S49	51	旧	長寿命	B	B	C	C	A	60
3	那加第三小学校	体育館	体育館	930	S58	42	新	長寿命	A	B	C	C	A	62
4	尾崎小学校	南舎	校舎	3,422	S51	49	旧	長寿命	B	A	C	C	C	60
4	尾崎小学校	北舎	校舎	1,332	S52	48	旧	調査	A	A	C	C	C	62
4	尾崎小学校	給食室	給食室	172	S52	48	旧	調査	A	B	C	C	C	55
4	尾崎小学校	体育館	体育館	866	S53	47	旧	長寿命	C	B	C	C	C	50
5	稲羽西小学校	北舎	校舎	2,779	S40	60	旧	要調査	A	A	C	C	C	62
5	稲羽西小学校	南舎西	校舎	571	S42	58	旧	長寿命	A	A	C	C	C	62
5	稲羽西小学校	南舎東	校舎	1,720	S50	50	旧	長寿命	A	A	C	C	C	62
5	稲羽西小学校	給食室	給食室	177	S56	44	旧	調査	B	B	B	B	B	75
5	稲羽西小学校	体育館	体育館	1,145	H19	18	新	長寿命	A	A	A	A	A	100
6	稲羽東小学校	本舎	校舎	3,205	S45	55	旧	長寿命	B	A	C	C	C	60
6	稲羽東小学校	体育館	体育館	923	H23	14	新	長寿命	A	A	A	A	A	100
7	川島小学校	本舎	校舎	5,493	S51	49	旧	長寿命	A	B	C	C	C	55
7	川島小学校	給食室	給食室	1,069	H14	23	新	長寿命	B	B	A	A	A	90
7	川島小学校	体育館	体育館	1,605	S61	39	新	長寿命	B	B	B	B	B	75
8	鵜沼第一小学校	東舎	校舎	3,141	S47	53	旧	長寿命	B	A	C	C	C	60
8	鵜沼第一小学校	西舎	校舎	1,860	S49	51	旧	長寿命	A	A	C	C	C	62
8	鵜沼第一小学校	給食室	給食室	185	S55	45	旧	調査	A	A	B	B	B	84
8	鵜沼第一小学校	体育館	体育館	826	S50	50	旧	調査	B	B	C	C	C	53
9	鵜沼第二小学校	南舎	校舎	2,576	S46	54	旧	長寿命	A	A	C	C	C	62
9	鵜沼第二小学校	北舎	校舎	2,648	S47	53	旧	長寿命	A	A	C	C	C	62
9	鵜沼第二小学校	体育館	体育館	1,164	H22	15	新	長寿命	A	A	A	A	A	100
10	鵜沼第三小学校	中舎	校舎	3,153	S49	51	旧	長寿命	B	B	C	C	C	53
10	鵜沼第三小学校	南舎	校舎	839	S57	43	新	長寿命	A	A	B	B	B	84
10	鵜沼第三小学校	北舎	校舎	1,880	S51	49	旧	長寿命	B	A	C	C	C	60
10	鵜沼第三小学校	給食室	給食室	175	S52	48	旧	調査	A	B	C	C	C	55
10	鵜沼第三小学校	体育館	体育館	866	S52	48	旧	調査	B	B	C	C	C	53

：築50年以上　：築30年以上

A ：概ね良好　B ：部分的に劣化　C ：広範囲に劣化　D ：早急に対応する必要がある

11	緑苑小学校	北舎	校舎	1,833	S51	49	旧	長寿命	B	A	C	C	C	60
11	緑苑小学校	中舎	校舎	1,701	S53	47	旧	調査	A	A	C	C	C	62
11	緑苑小学校	南舎	校舎	1,367	S53	47	旧	長寿命	A	A	C	C	C	62
11	緑苑小学校	給食室	給食室	168	S54	46	旧	調査	A	B	C	C	C	55
11	緑苑小学校	体育館	体育館	866	S54	46	旧	調査	B	B	C	C	C	53
12	八木山小学校	南舎	校舎	3,048	S52	48	旧	長寿命	A	A	C	C	C	62
12	八木山小学校	北舎	校舎	1,207	S54	46	旧	調査	A	A	C	C	C	62
12	八木山小学校	給食室	給食室	181	S54	46	旧	調査	A	B	C	C	C	55
12	八木山小学校	体育館	体育館	857	S54	46	旧	調査	C	B	C	C	C	50
13	陵南小学校	南舎	校舎	3,246	S59	41	新	長寿命	A	A	B	B	B	84
13	陵南小学校	北舎	校舎	1,273	S59	41	新	長寿命	A	A	B	B	B	84
13	陵南小学校	給食室	給食室	201	S59	41	新	長寿命	A	B	B	B	B	77
13	陵南小学校	体育館	体育館	903	S60	40	新	長寿命	C	B	B	B	B	72
14	各務小学校	東舎	校舎	2,987	S44	56	旧	長寿命	A	A	C	C	C	62
14	各務小学校	西舎	校舎	1,059	S56	44	旧	調査	B	A	B	B	B	82
14	各務小学校	体育館	体育館	937	H25	12	新	長寿命	B	A	A	A	A	97
15	蘇原第一小学校	本舎	校舎	3,380	S33	67	旧	要調査	A	A	C	C	A	69
15	蘇原第一小学校	東舎	校舎	2,781	S53	47	旧	長寿命	A	A	C	C	A	69
15	蘇原第一小学校	西舎	校舎	1,025	H23	14	新	長寿命	A	A	A	A	A	100
15	蘇原第一小学校	体育館	体育館	1,629	H21	16	新	長寿命	A	A	A	A	A	100
16	蘇原第二小学校	北舎	校舎	3,426	S47	53	旧	長寿命	A	A	C	C	C	62
16	蘇原第二小学校	南舎東	校舎	1,511	S48	52	旧	調査	A	A	C	C	C	62
16	蘇原第二小学校	南舎西	校舎	750	S58	42	新	長寿命	B	A	B	B	B	82
16	蘇原第二小学校	体育館	体育館	880	S49	51	旧	調査	A	A	A	A	A	100
17	中央小学校	南舎	校舎	2,693	S53	47	旧	長寿命	B	A	C	C	C	60
17	中央小学校	北舎	校舎	1,494	S53	47	旧	調査	A	A	C	C	C	62
17	中央小学校	体育館	体育館	866	S54	46	旧	調査	C	C	C	C	C	40
18	那加中学校	南舎	校舎	3,719	S36	64	旧	長寿命	B	A	C	C	A	67
18	那加中学校	北舎	校舎	3,669	S44	56	旧	長寿命	B	A	C	C	A	67
18	那加中学校	給食室	給食室	229	S55	45	旧	調査	B	B	B	B	B	75
18	那加中学校	体育館	体育館	1,533	H24	13	新	長寿命	A	B	A	A	A	92
18	那加中学校	武道場	武道場	505	H2	35	新	長寿命	B	C	B	B	B	64
19	桜丘中学校	北舎	校舎	3,219	S61	39	新	長寿命	A	A	B	B	B	84
19	桜丘中学校	南舎	校舎	4,132	S61	39	新	長寿命	A	A	B	B	B	84
19	桜丘中学校	給食室	給食室	246	S61	39	新	長寿命	A	B	B	B	B	77
19	桜丘中学校	体育館	体育館	1,231	S61	39	新	長寿命	B	B	B	B	B	75
19	桜丘中学校	武道場	武道場	537	H12	25	新	長寿命	B	A	A	A	A	97
20	稲羽中学校	南舎西	校舎	2,365	S34	66	旧	要調査	A	A	C	C	A	69
20	稲羽中学校	南舎東	校舎	1,886	S50	50	旧	長寿命	A	A	C	C	A	69
20	稲羽中学校	北舎	校舎	895	S57	43	新	長寿命	A	A	B	B	A	87
20	稲羽中学校	体育館	体育館	1,075	S59	41	新	長寿命	B	B	B	B	A	78
20	稲羽中学校	武道場	武道場	509	H3	34	新	長寿命	B	B	B	B	A	78

：築50年以上　：築30年以上

A ：概ね良好　B ：部分的に劣化　C ：広範囲に劣化　D ：早急に対応する必要がある

21	川島中学校	北舎	校舎	3,828	S40	60	旧	長寿命	A	B	C	C	C	55
21	川島中学校	東舎	校舎	1,239	S62	38	新	長寿命	A	A	B	B	B	84
21	川島中学校	配膳室	配膳室	52	H14	23	新	長寿命	B	B	A	A	A	90
21	川島中学校	体育館	体育館	1,304	S46	54	旧	長寿命	A	A	C	C	C	62
21	川島中学校	武道場	武道場	540	S61	39	新	長寿命	B	B	B	B	B	75
22	鵜沼中学校	南舎	校舎	4,260	S37	63	旧	要調査	B	A	C	C	C	60
22	鵜沼中学校	北舎	校舎	3,644	S38	62	旧	長寿命	A	A	C	C	C	62
22	鵜沼中学校	給食室	給食室	215	S56	44	旧	調査	A	A	B	B	B	84
22	鵜沼中学校	体育館・武道場	体育館・武道場	1,852	H5	32	新	長寿命	B	B	B	B	B	75
23	緑陽中学校	北舎	校舎	4,273	S53	47	旧	長寿命	A	A	C	C	C	62
23	緑陽中学校	南舎	校舎	2,322	S53	47	旧	調査	A	A	C	C	C	62
23	緑陽中学校	給食室	給食室	183	S53	47	旧	調査	A	A	C	C	C	62
23	緑陽中学校	体育館	体育館	1,050	S53	47	旧	調査	B	B	C	C	C	53
23	緑陽中学校	武道場	武道場	513	H6	31	新	長寿命	B	B	B	B	B	75
24	蘇原中学校	北舎	校舎	3,558	S42	58	旧	長寿命	B	A	C	C	C	60
24	蘇原中学校	南舎	校舎	3,463	S52	48	旧	長寿命	B	A	C	C	C	60
24	蘇原中学校	給食室	給食室	220	S42	58	旧	調査	A	A	C	C	C	62
24	蘇原中学校	体育館・武道場	体育館・武道場	2,122	H11	26	新	長寿命	B	A	B	B	B	82
25	中央中学校	北舎	校舎	3,972	S54	46	旧	長寿命	A	A	C	C	C	62
25	中央中学校	南舎	校舎	3,239	S54	46	旧	長寿命	A	A	C	C	C	62
25	中央中学校	体育館	体育館	1,050	S54	46	旧	調査	B	B	C	C	C	53
25	中央中学校	武道場	武道場	511	H4	33	新	長寿命	B	B	B	B	B	75
26	かかみがはら支援学校	校舎棟	校舎	13,158	R6	0	新	長寿命	A	A	A	A	A	100
26	かかみがはら支援学校	作業棟	校舎	281	R6	0	新	長寿命	A	A	A	A	A	100
27	学校給食センター	給食センター	給食センター	2,837	H20	17	新	長寿命	B	B	A	A	A	90
28	教育支援センターさくらまえみや	その他	その他	780	S55	45	新	長寿命	B	C	A	B	B	74

４　学校教育系施設整備の基本的な方針等

（１）学校教育系施設整備の方針

学校教育系施設整備の今後の方針については、上位計画である総合管理計画に基づくものとします。同計画（Ｐ３２～34、３７～３８）には、以下の方針が示されています。

基本方針と取組み	**基本方針１　施設総量の適正化の推進** ○「量」と「質」の最適化による適正な施設配置の推進 ○施設の集約化（統合）、複合化、多機能化、転用、廃止の検討 ○施設の規模縮小の検討 ○広域連携による施設の相互利用や共同設置の検討 **基本方針２　計画的な維持管理と長寿命化の推進** ○点検・診断の実施による安全性の確保 ○計画的な維持管理の推進 ○長寿命化の推進 ○耐震化の推進 ○ユニバーサルデザイン化の推進 **基本方針３　効率的な施設の運営と経費の削減** ○施設運営経費の削減 ○受益者負担の適正化 ○市民協働、民間活力の導入 ○未利用資産の有効活用
施設類別に応じた基本方針	○各学校は、生徒の安全な学習環境の確保と災害時における地域の防災拠点としての機 能を確保するため、計画的な設備機器の更新と修繕等により、長寿命化を図ります。 ○今後、少子化の進展により、児童生徒数の減少が予想されることから、令和 2 年 6 月に策定した「各務原市学校適正規模・適正配置等に関する基本計画」に基づき、教 育環境等の状況を見極めながら学校規模の適正化を柔軟に対応します。 ○学校の再編や更新が必要となる場合には、地域コミュニティの核となる学校の重要性 を考慮し、保護者や地域の意向を十分に踏まえ、隣接学区との調整による統合や、周 辺の公共施設機能との複合化、更新時の規模縮小など、地域活力を維持する観点から、 多角的な視点で慎重に検討します。 ○特別支援学校は、これまで市内にはなかった、知的障がい・肢体不自由・病弱の児童 生徒が小中高一貫で学ぶことのできる新たな学校として整備します。なお、現在の校 舎については、今後のあり方を検討します。

	○給食センターは、学校規模の適正化と効率的な施設運営を念頭に置いて、給食調理場 を単独校からセンター校への切り替えを検討するとともに、計画的な設備機器の更新 と修繕等により、長寿命化を図ります。

（２）学校教育系施設の規模・配置計画の方針

令和２年６月に策定した、「各務原市学校適正規模・適正配置等に関する基本計画」では、市内小中学校の規模適正化について「児童生徒数は減少傾向にあり、一部の学校においては、それぞれに状況が異なるものの、近い将来、適正化すべき小規模校に該当する可能性がある。しかしながら、早急に学校規模の適正化に向けた検討を開始する必要があるとは考えにくく、引き続き注視をしていく。」と定めており、今後も現在の学校配置を維持していく方向性を示しています。

同計画に基づき、現学校配置を維持する方向で、施設整備を推進します。

（３）改修等の方針

１）施設整備の方針

施設に不具合が発生してから修繕等を実施する「事後保全」型ではなく、中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減、予算の平準化、施設の長寿命化を実現するため、以下に示すような施設を除き、総合管理計画の中で公共施設等マネジメント基本方針として示されている「予防保全」型の維持管理方針を実施していきます。

【除外施設】
- 鉄筋コンクリートの劣化が激しく、改修に多額の費用がかかるため、改築したほうが経済的に望ましい施設
- コンクリート強度が著しく低い施設（概ね 13.5N／mm²以下）
- 基礎の多くの部分で鉄筋が腐食している施設
- 学校の適正配置など地域の実情により改築せざるを得ない施設

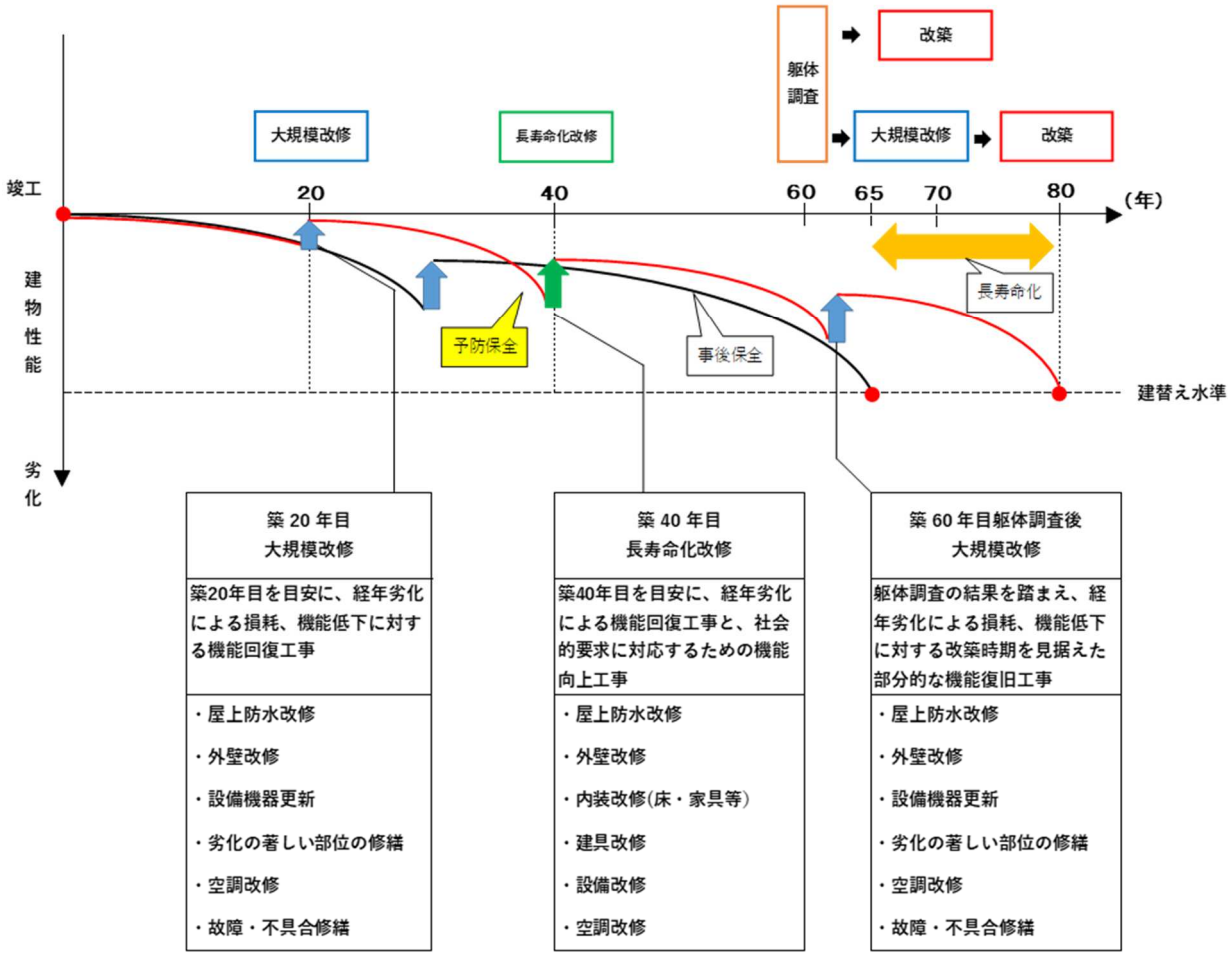
また、定期的な点検・診断を確実に行うことにより、劣化や損傷状況を的確に把握することにも努めます。予防保全型の維持管理を徹底することにより、施設を出来る限り健全な状態で維持しながら長寿命化を推進します。

2）予防保全の方針

基本的な予防保全方針として、築 20 年程度で「経年劣化による損耗、機能低下に対する機能回復」を目的とした大規模改修、築 40 年程度で「経年劣化による機能回復工事と、社会的要求に対応するための機能向上」を目的とした長寿命化改修、築 60 年程度でコンクリート圧縮強度試験等による調査（以下「躯体調査」という。）を実施し、その結果を踏まえ、「改築時期を見据えた部分的な機能復旧」を目的とした大規模改修を実施して、目標使用年数まで建物が安全に保たれるよう長寿命化を図ります。

また、躯体調査の結果次第では、目標使用年数や改修計画の見直しを行い、適切な時期に改築（更新）できるよう努めます。

【予防保全の方針】



３）目標使用年数の設定

各務原市の公共建築物は「建築物の耐久計画に関する考え方」及び「JASS５鉄筋コンクリート工事」を参考に目標使用年数については、鉄筋コンクリート造 65 年もしくは 80 年、鉄骨造・木造を 50 年としていますが、学校教育系施設については、その意義が普遍的かつ建物の構造・レイアウト等がシンプルであることを踏まえ、以下の目標使用年数を用いて管理を行います。

①校舎【鉄筋コンクリート造（RC 造）、鉄骨造（S 造）】

現行の建築基準法に基づき昭和 56 年 6 月 1 日以降に建設された新耐震基準の学校施設は、目標使用年数を 80 年とします。それ以前に建設された旧耐震基準の学校施設については、コンクリート圧縮強度試験結果など施設の状態に応じて、概ね 70 年から 80 年を目標使用年数とします。

②給食センター【鉄骨造（S 造）】

鉄骨造の建物は、長寿命化が容易でなく、機能復旧を目的とした大規模改修工事を実施したとしても、改修費用に見合う効果が期待できない可能性が高いため、「建築物の耐久計画に関する考え方」における目標耐用年数の範囲の最小値を採用し、50 年とします。

学校教育系施設の目標使用年数

区分	目標使用年数
RC 造 旧耐震基準（コンクリート圧縮強度平均値 13.5N/㎟超 20N/㎟未満）	70 年
RC 造 旧耐震基準（コンクリート圧縮強度平均値 20N/㎟以上 30N/㎟未満）	75 年
RC 造 旧耐震基準（コンクリート圧縮強度平均値 30N/㎟以上）及び新耐震基準	80 年
S造の建築物（学校給食センター）	50 年

建築物の望ましい目標耐用年数の級

	鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造		鉄骨造			ブロック造 れんが造	木造
			重量鉄骨		軽量鉄骨		
	高品質の場合	普通の品質の場合	高品質の場合	普通の品質の場合			
学校・官庁	Y100以上	Y60以上	Y100以上	Y60以上	Y40以上	Y60以上	Y60以上
住宅・事務所・病院	Y100以上	Y60以上	Y100以上	Y60以上	Y40以上	Y60以上	Y40以上
店舗・旅館・ホテル	Y100以上	Y60以上	Y100以上	Y60以上	Y40以上	Y60以上	Y40以上
工場	Y40以上	Y25以上	Y40以上	Y25以上	Y25以上	Y25以上	Y25以上

出典：「建築物の耐久計画に関する考え方」（日本建築学会）

目標耐用年数の級の区分の例

級	目標耐用年数					
	代表値	範囲				下限値
Y150	150年	120	～	200		120年
Y100	100年	80	～	120		80年
Y60	60年	50	～	80		50年
Y40	40年	30	～	50		30年
Y25	25年	20	～	30		20年

出典：「建築物の耐久計画に関する考え方」（日本建築学会）

５　長寿命化の実施計画

（１）整備の方向性・改修の優先順位

予防保全型の長寿命化対策を行うにあたり、建物を長期にわたり使用するためには、その間の安全性を確保することが前提となります。そのため、「改築、長寿命化改修、大規模改修」については、「３　（４）個別施設の状態　１）構造躯体の健全性の把握　」にて記載した構造躯体の健全性の評価（以下「躯体健全性評価」という。）結果を基に、また屋根や外壁等の「部位改修」については、躯体以外の劣化状況評価の結果を踏まえて、各施設の今後の整備の方向性を決定します。

１）躯体健全性評価に基づく整備の方向性

①「要調査」の建物

「要調査」評価の建物は、速やかに躯体調査を実施します。

躯体調査結果を踏まえ、ライフサイクルコストや社会情勢等を考慮した上で、改築や大規模改修など整備の方向性を決定します。

②「調査」の建物

旧耐震基準で「調査」評価の建物は、適宜、躯体調査を実施して目標使用年数の確認を行います。過去の改修履歴と現状等を踏まえ、大規模改修または部位改修を実施して築 60 年を目安に再度、躯体調査を実施します。

躯体調査結果を踏まえ、ライフサイクルコストや社会情勢等を考慮した上で、改築や大規模改修など整備の方向性を決定します。

③「長寿命化」の建物

ア　新耐震基準で過去に大規模改修を実施していない建物（以下「未改修」という。）及び旧耐震基準で築 40 年経過していない建物

築 40 年を目安に長寿命化改修を実施し、築 60 年を目安に、躯体調査を実施します。

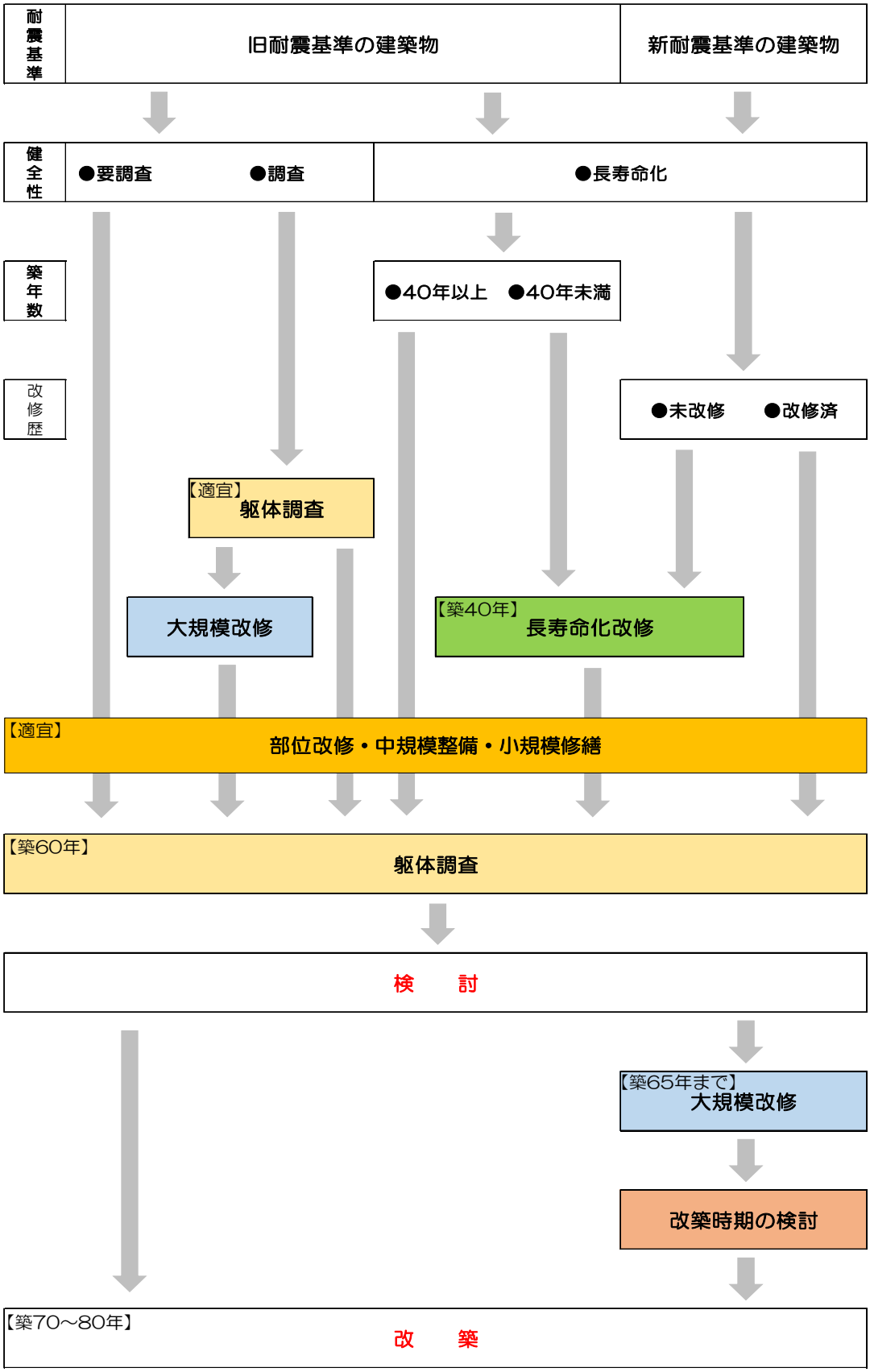
躯体調査結果を踏まえ、ライフサイクルコストや社会情勢等を考慮した上で、改築や大規模改修など整備の方向性を決定します。

イ　新耐震基準で過去に大規模改修を実施している建物（以下「改修済」という。）及び旧耐震基準で築 40 年以上経過している建物

劣化状況の定期的な調査を実施し、必要に応じて部位改修等を適宜実施して築 60 年を目安に躯体調査を実施します。

躯体調査結果を踏まえ、ライフサイクルコストや社会情勢等を考慮した上で、改築や大規模改修など整備の方向性を決定します。

躯体健全性評価に基づく整備の方向性



2）劣化状況評価の結果に基づく「部位改修」の方向性

部位別の劣化事象に応じた健全度から部位の改修時期を設定します。

また、それほど緊急性が高くはなく、しかし、今後 10 年以内には改修する必要があるもので、その間に、長寿命化改修や大規模改修等の計画時期が到来するものについては、合わせて改修を行うこととしました。

施設の劣化状況評価において、屋根・屋上、外壁が C 評価のものについては、10 年以内に改修するよう計画されています。なお、改修時期の優先順位を判断する上で、評価内容以外の部分（利用頻度、改修履歴等）も考慮しました。

部位改修の方向性

部位	直ちに改修又は ５年以内の改修が必要	10年以内の改修が必要	現時点では改修の必要はない
屋根・屋上	D評価	C評価	B・A評価
	・雨漏り （大規模・複数箇所） ・金属屋根の腐食による穴あき、損傷 ・広範囲に破断、捲れ、下地露出等の複合要因による屋上全体の劣化	・雨漏り（小規模） ・金属屋根のずれ、剥がれ ・瓦屋根のずれ、剥がれ ・防水層の膨れ、しわ、穴あき等の複合要因による屋上全体の劣化	
外壁	D評価	C評価	B・A評価
	・鉄筋の露出、亀裂、欠損、浮き、爆裂等の複合要因による外壁全体の劣化 ・漏水（大規模） ・仕上げ材の落下による人体への被害	・鉄筋の露出、ひび割れ、変質、浮き、はらみ等の複合要因による屋上全体の劣化 ・漏水（小規模）	
内部（室内）	・落下による人体への危険	D評価	C・B・A評価
電機設備	・漏電 ・漏水 ・防災設備の故障	D評価	C・B・A評価
給排水衛生設備		D評価	C・B・A評価
空調換気設備		D評価	C・B・A評価
その他設備		D評価	C・B・A評価

（２）施設整備にかかる事業費の算出条件

○概算事業費の算出は、各学校の主要な校舎、体育館、給食室のみを対象とし、倉庫、機械室等は、主要な建物と比較して小規模のため、対象外としています。

○概算事業費には、工事費のほか設計委託料、監理委託料を含みます。

○改修費用について、主要な構造部（屋根、壁）及び主な設備（空調、給排水衛生設備、受変電設備、トイレ）の改修を「大規模改修費」、主要な構造部以外の部位や設備の改修を「中規模整備費」、日々の点検結果をもとに、緊急性が高く少額な修繕を「小規模修繕費」として算出します。

○改修単価は、実勢価格や過去の工事履歴等を参考に設定しています。将来的な技術革新や物価動向など社会経済状況の変化によって変動します。また、工事前には施設の詳細な調査等が必要であり、調査結果次第では、事業費に大きな影響が生じる場合もあります。

○維持補修費用（施設を維持するために要する例年の修繕料）や保守点検費用（設備等を正常な状態に保つために要する定期点検費用）は、1 施設あたり 1,000 千円以上の場合のみ計上しています。

○建物の維持・更新に関する費用以外の業務委託料（剪定・除草等）は計上していません。

○改築に要する事業費や工期は施設規模によって異なりますが、便宜上、同一単価で積算し、合計額を開始年度と翌年度の２年間に均等に振り分けています。

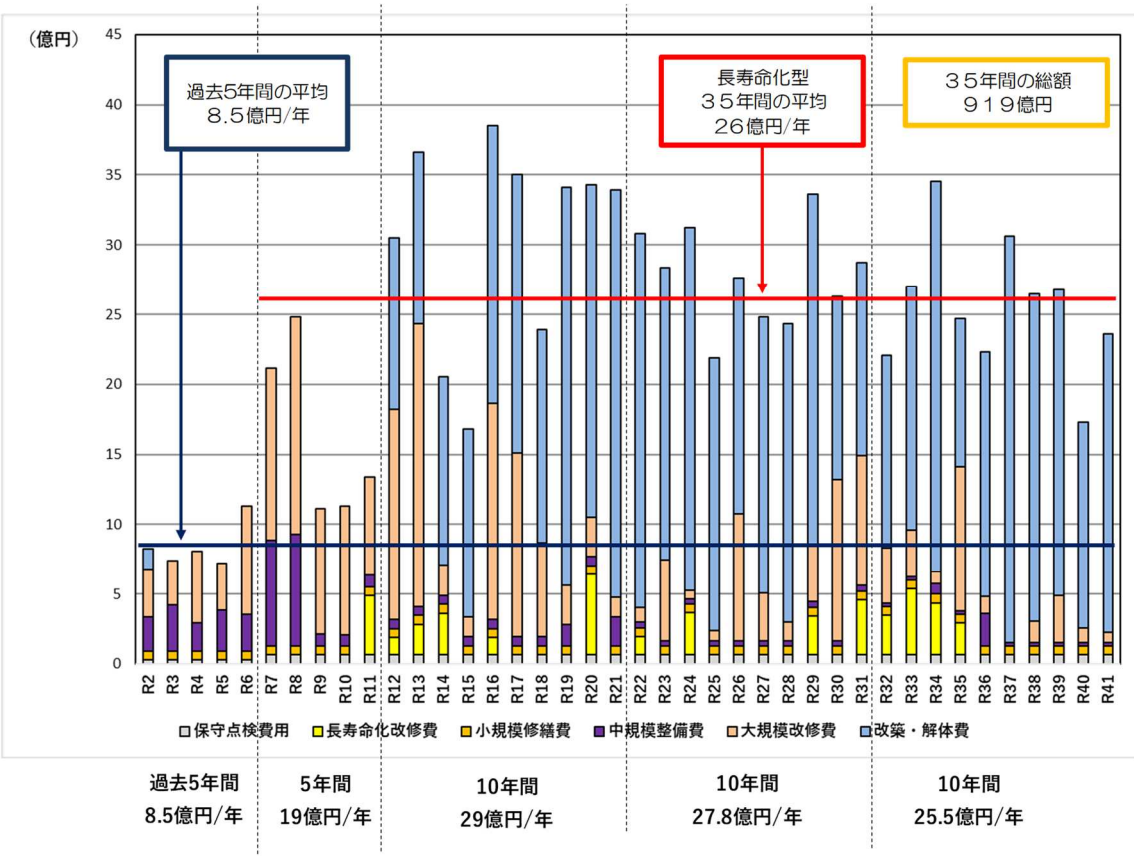
○改築開始を予定した年度から遡って 5 年間は、主要構造部や主な設備の更新を行わないこととしています。

○校舎と体育館は同時期に改築することを想定していますが、2000 年度以降に建設した比較的新しい体育館については、本校舎が改築時期を迎えても同時期の改築は実施しないこととしています。

（３）３５年間の概算事業費の試算

前頁「施設整備にかかる事業費の算出条件」により試算した３５年間の概算事業費の結果は以下のグラフのとおりです。（令和８年１月時点）

【今後の維持・更新事業費】



今後３５年間における学校教育系施設の概算事業費を試算した結果、総額で９１９億円かかる見込みとなりました。１年あたりの平均事業費は２６億円で、36ページで示した過去５年間の平均額（8.5億円/年）の約３倍に膨らみます。

なお、今後は本計画で実施した平準化作業に加え、国庫補助や地方債の活用、断熱材や複層ガラスなどを用いて、建物の断熱化や省エネルギー設備機器を導入する等の維持費削減対策を講じるなど多角的に事業費の削減を検討していく必要があります。

（４）今後５年の整備計画

今後５年間の整備計画を以下に示します。

（千円）

事業名称	年度	2025		2026		2027		2028		2029	
		R7		R8		R9		R10		R11	
		学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費
大規模改修費	屋上改修事業	那加三小	23,117	那加一小（東舎）	9,900						
		那加二小	18,842	緑陽中（体育館）	30,514						
	小計		41,959		40,414						
	外壁改修事業	那加三小（北舎）	127,886	那加三小（南舎）	87,034	鵜沼一小（東舎）	89,987	鵜沼一小（西舎）	83,982	川島中（北舎）	177,983
				蘇原二小（北舎）	133,050	川島小（体育館）	72,514	各務小（東舎）	249,106	各務小（西舎）	49,239
	小計		127,886		220,084		167,376		343,081		234,039
	受変電設備更新事業	那加一小	41,391	那加三小	36,856	川島小	100,750	稲羽西小	33,897	那加一小（西舎）	42,648
		緑苑小	26,610	鵜沼二小	34,110			稲羽東小	39,046	陵南小	42,648
								桜丘中	60,854	蘇原中	31,098
	小計		68,001		70,966		100,750		133,797		116,394
	給水管改修事業	鵜沼三小	112,353	中央小	131,471	川島小	145,696	緑苑小	119,045	桜丘中	182,224
		中央中	135,237	八木山小	128,012	陵南小	106,162	尾崎小	118,151		
	小計		247,590		259,483		251,858		237,196		182,224
	トイレ改修事業	鵜沼三小	42,112	川島中	36,733	那加二小	20,700				
		中央中	26,025			那加三小	22,870				
	小計		68,137		36,733		43,570				
	給食調理室環境整備事業	尾崎小 給食室	23,654								
	小計		23,654								
	体育館空調設備整備事業	那加二小	60,572	那加一小	74,850						
		稲羽西小	63,995	那加三小	55,292						
		川島小	62,624	尾崎小	59,868						
		鵜沼二小	59,022	稲羽東小	68,184						
		蘇原一小	68,918	鵜沼一小	56,084						
		那加中	83,240	鵜沼三小	55,688						
		緑陽中	68,205	緑苑小	59,923						
		中央中	70,486	八木山小	62,508						
				陵南小	54,896						
				各務小	62,112						
				蘇原二小	65,137						
				中央小	70,318						
	小計		537,062		744,860						
	体育館大規模整備事業	中央小	133,622	鵜沼一小	153,519	鵜沼三小	208,667	中央中	259,993	川島小	422,092
	小計		133,622		153,519		208,667		259,993		422,092
合計		1,247,911		1,526,059		563,554		714,074		532,657	
中規模整備費		725,293		773,093		390,087		258,476		646,306	
小規模修繕費		70,224		88,240		88,240		88,240		88,240	
保守点検費用		70,165		70,165		70,165		70,165		70,165	
合計		2,113,593		2,457,557		1,112,046		1,130,955		1,337,368	

６　個別施設計画推進に向けた取組み

【今後５年間の施設毎の整備予定】

〇横断的な庁内連携

公共施設マネジメントは施設所管課が単独でできるものではありません。今後の施設の複合化・集約化などの議論や施設点検結果に基づく対策への助言など、庁内で横断的な連携を図り、計画の推進に向けて取り組んでいきます。

〇点検・管理体制の強化

施設の適切な管理を推進するため、日常的な管理・点検のほか、法定点検を確実に実施します。また、これらの点検から得られた結果をデータベースに整理・蓄積し、今後の老朽化の予測や長寿命化の目標使用年数等の検討に活用します。

〇進捗管理の徹底

本計画の進捗確認のため、個々の施設の状態や本計画に基づく長寿命化の実施状況を継続的に把握することとします。また、対策の進捗状況を踏まえ、計画期間内であっても、社会情勢や政策動向、市民のニーズの変化等に対応し、適宜、計画内容の見直しを行います。見直しの際には、本市の最上位計画である総合計画や上位計画である総合管理計画との整合性にも留意した上で適切に行うこととします。